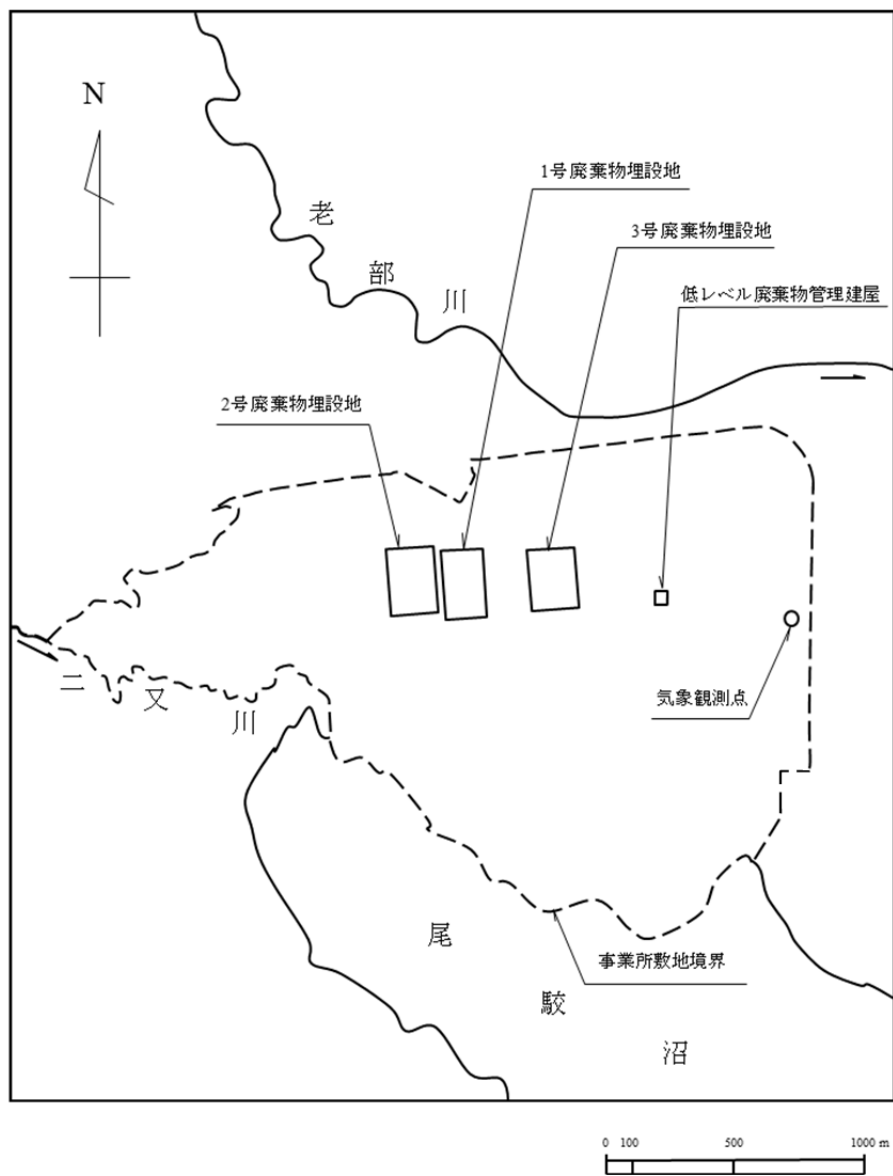
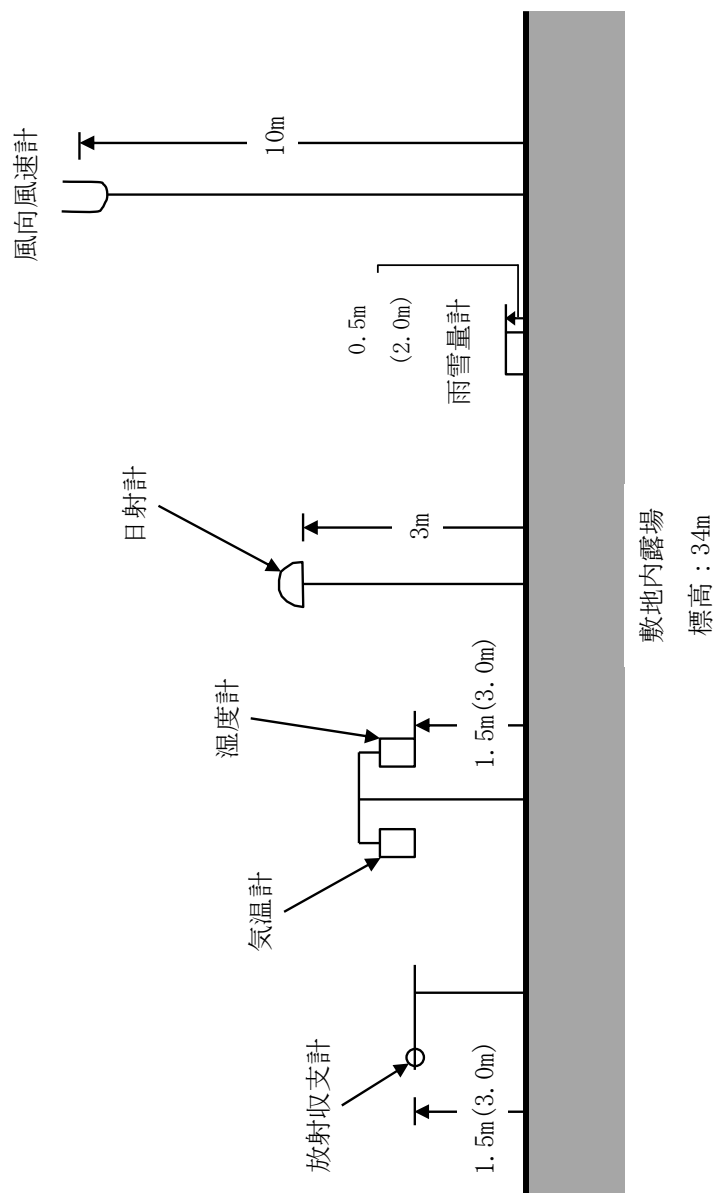


添 3 イ-第 1 図 気象官署及び六ヶ所地域気象観測所の位置図



注1：図中に事業所敷地内における気象観測点の位置を示す。

添3イ-第2図 気象観測機器配置図(1/2)

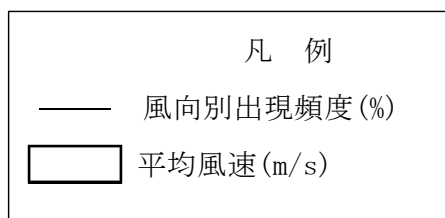
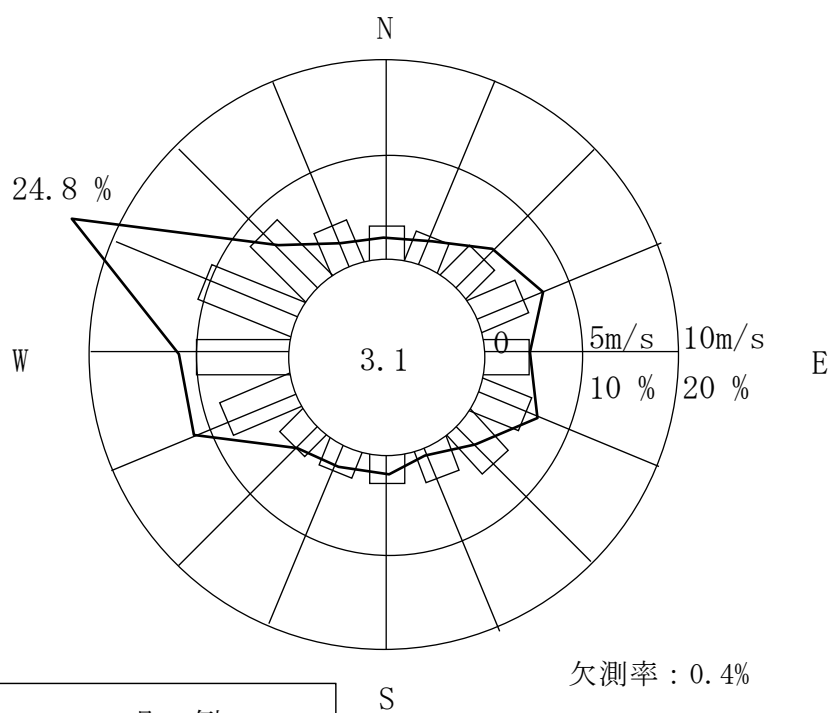


注1：添3イ-第2図「気象観測機器配置図(1/2)」における「気象観測点」の詳細を示す。

注2：( )内は、積雪期の高さを示す。

添3イ-第2図 気象観測機器配置図(2/2)

標高 44m(地上高 10m)



注1：小円内の数字は静穏の頻度(%)を示す。

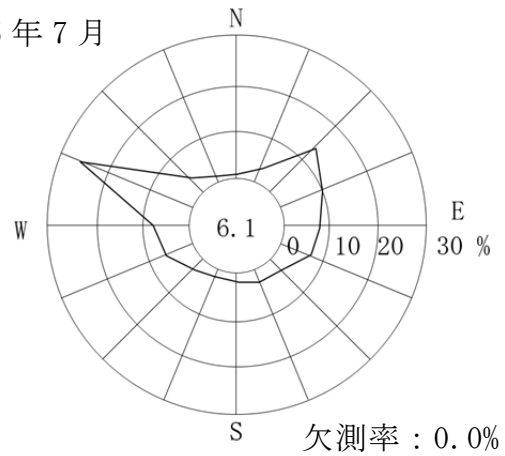
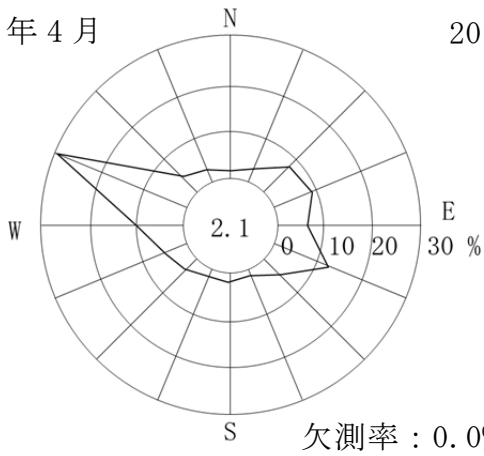
添3イ-第3図 事業所敷地の風配図(全年：2015年4月～2016年3月)

標高 44m(地上高 10m)

標高 44m(地上高 10m)

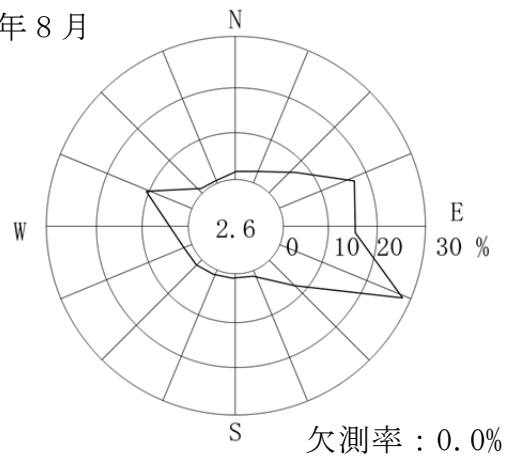
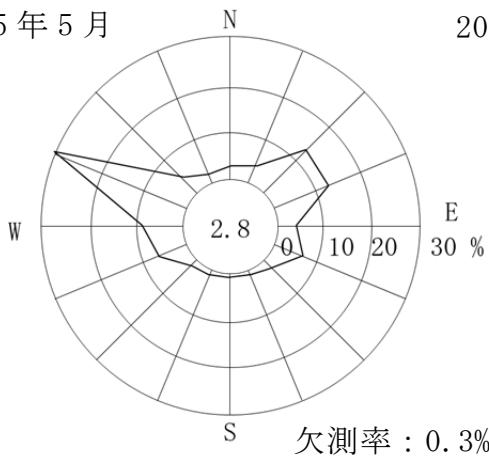
2015年4月

2015年7月



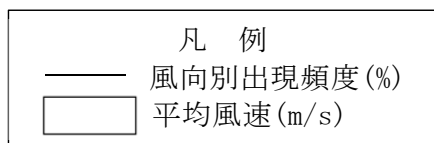
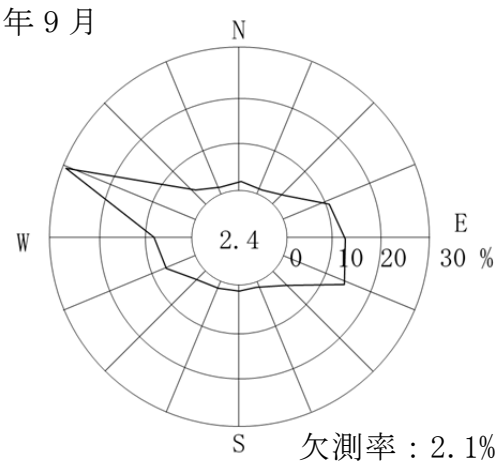
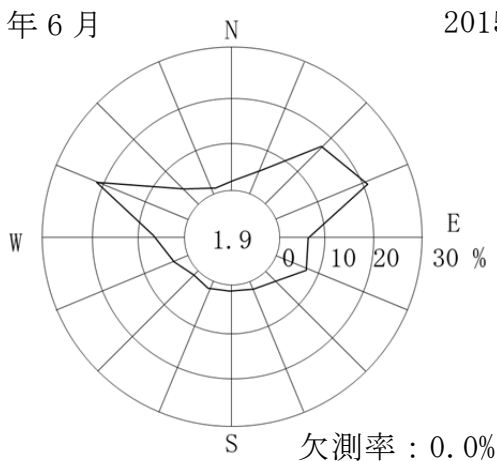
2015年5月

2015年8月



2015年6月

2015年9月



注1 : 小円内の数字は静穏の頻度 (%)。

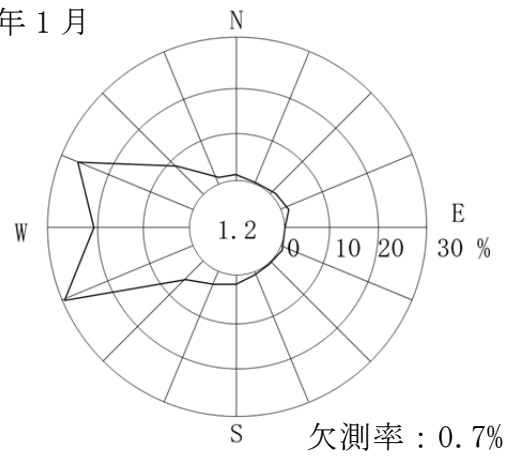
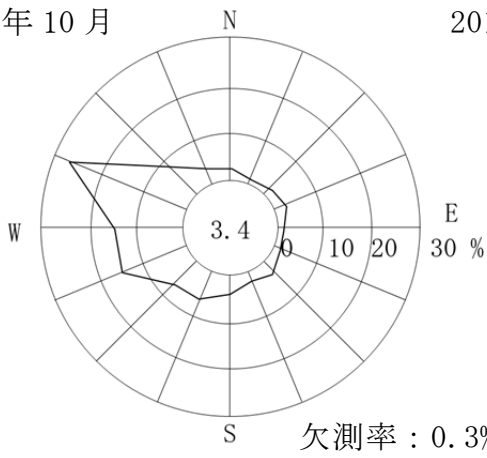
添3イ-第4図 事業所敷地の風配図(2015年4月~2015年9月)

標高 44m(地上高 10m)

標高 44m(地上高 10m)

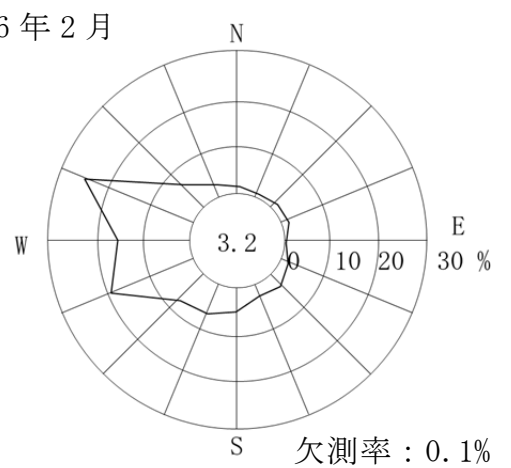
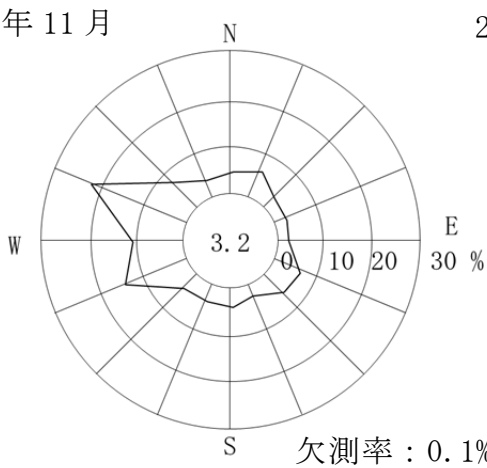
2015年10月

2016年1月



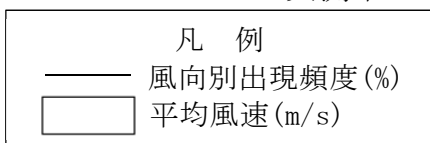
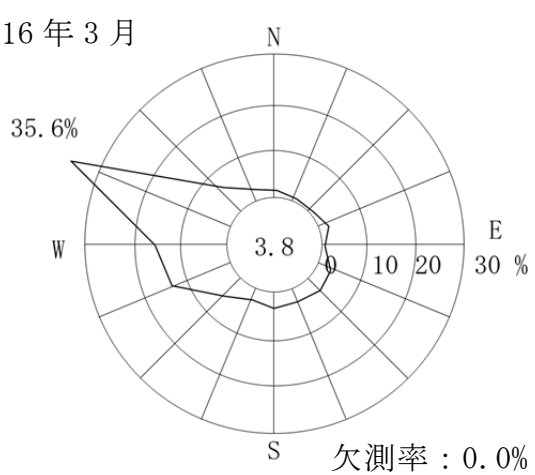
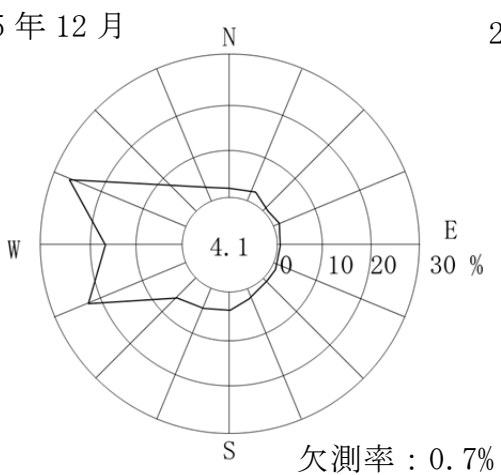
2015年11月

2016年2月



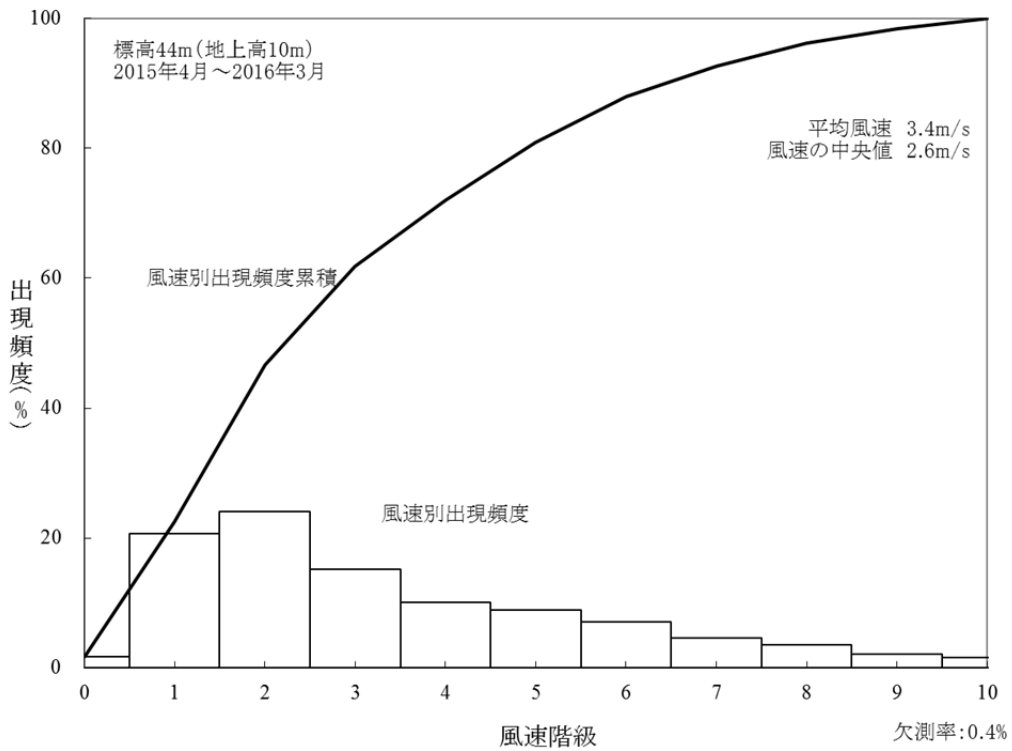
2015年12月

2016年3月



注1 : 小円内の数字は静穏の頻度(%)。

添3イ-第5図 事業所敷地の風配図(2015年10月~2016年3月)



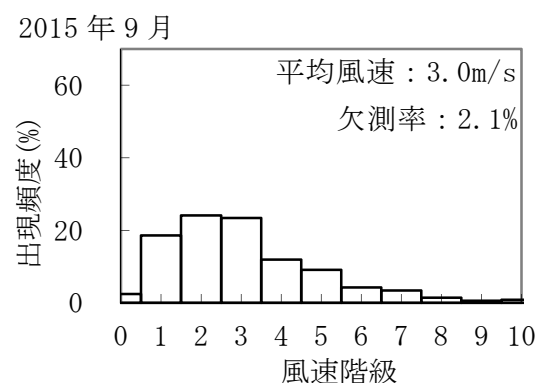
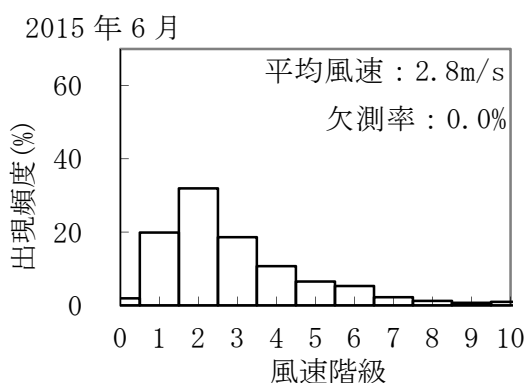
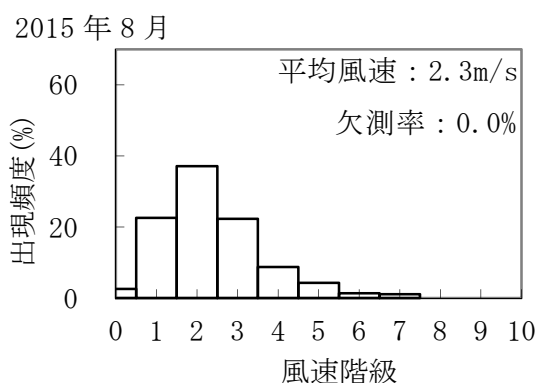
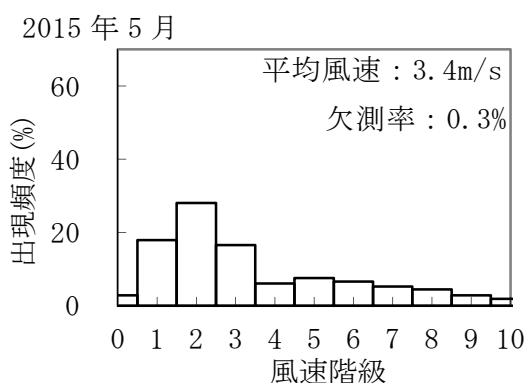
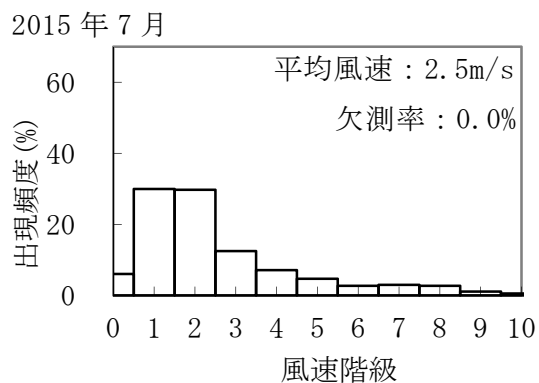
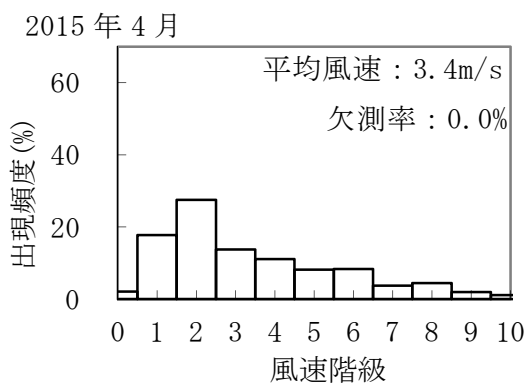
凡 例

風速階級	風速 (m/s)	風速階級	風速 (m/s)
0	0.0～0.4	6	5.5～6.4
1	0.5～1.4	7	6.5～7.4
2	1.5～2.4	8	7.5～8.4
3	2.5～3.4	9	8.5～9.4
4	3.5～4.4	10	9.5 以上
5	4.5～5.4	-	

添3イ-第6図 年間風速別出現頻度及び風速別出現頻度累積  
(標高44m、地上高10m)

標高 44m(地上高 10m)

標高 44m(地上高 10m)



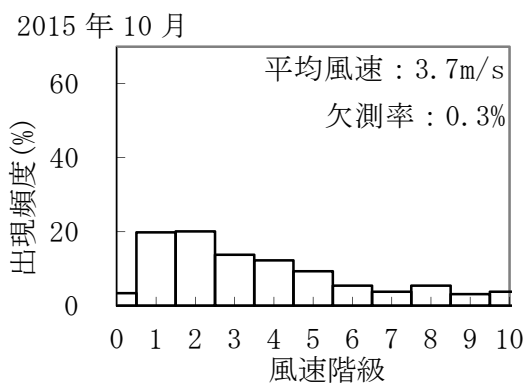
凡 例

風速階級	風速 (m/s)	風速階級	風速 (m/s)
0	0.0~0.4	6	5.5~6.4
1	0.5~1.4	7	6.5~7.4
2	1.5~2.4	8	7.5~8.4
3	2.5~3.4	9	8.5~9.4
4	3.5~4.4	10	9.5 以上
5	4.5~5.4		-

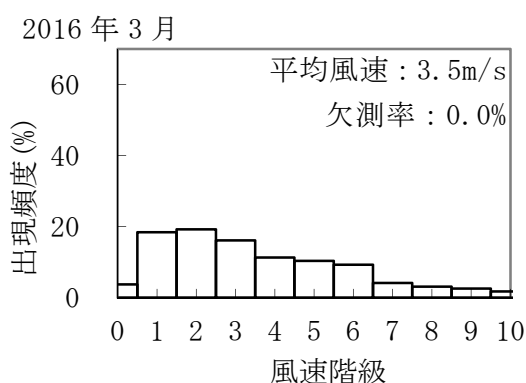
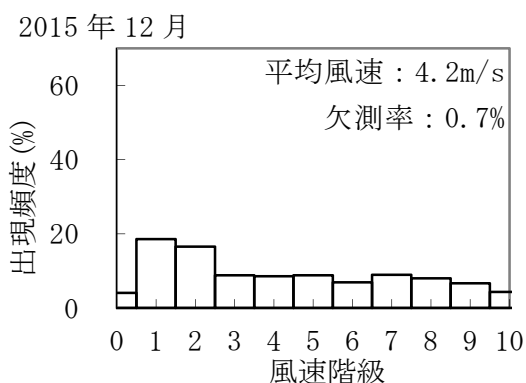
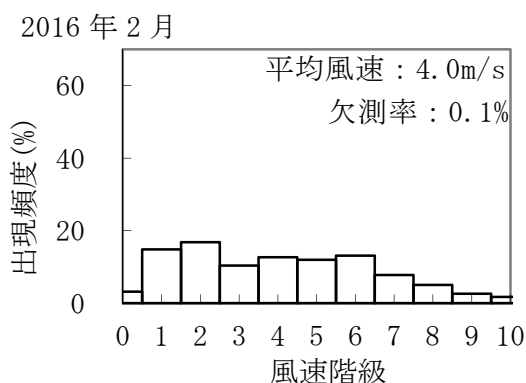
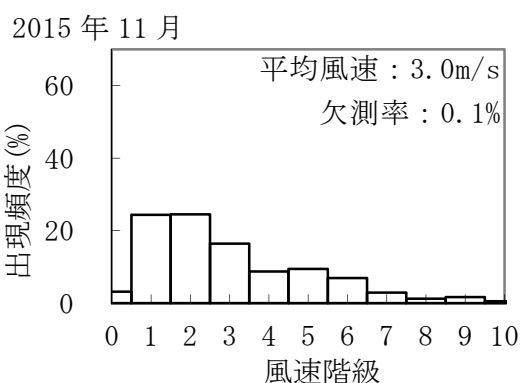
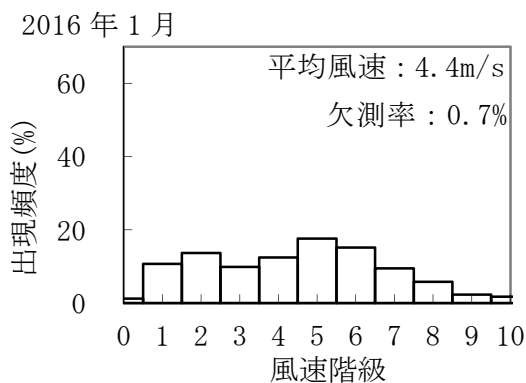
添 3 イ-第 7 図 月別風速別出現頻度(2015 年 4 月~2015 年 9 月)



標高 44m(地上高 10m)



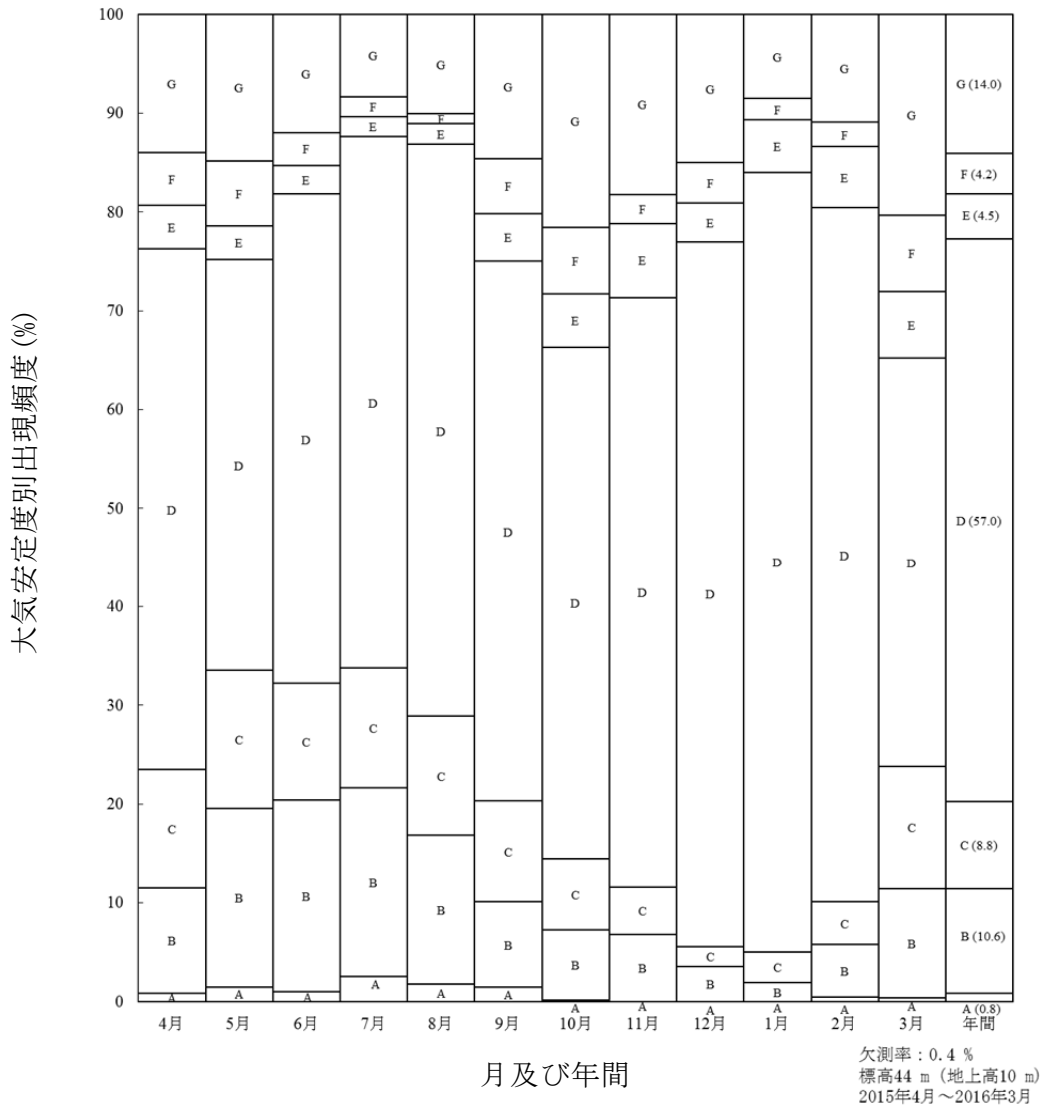
標高 44m(地上高 10m)



凡 例

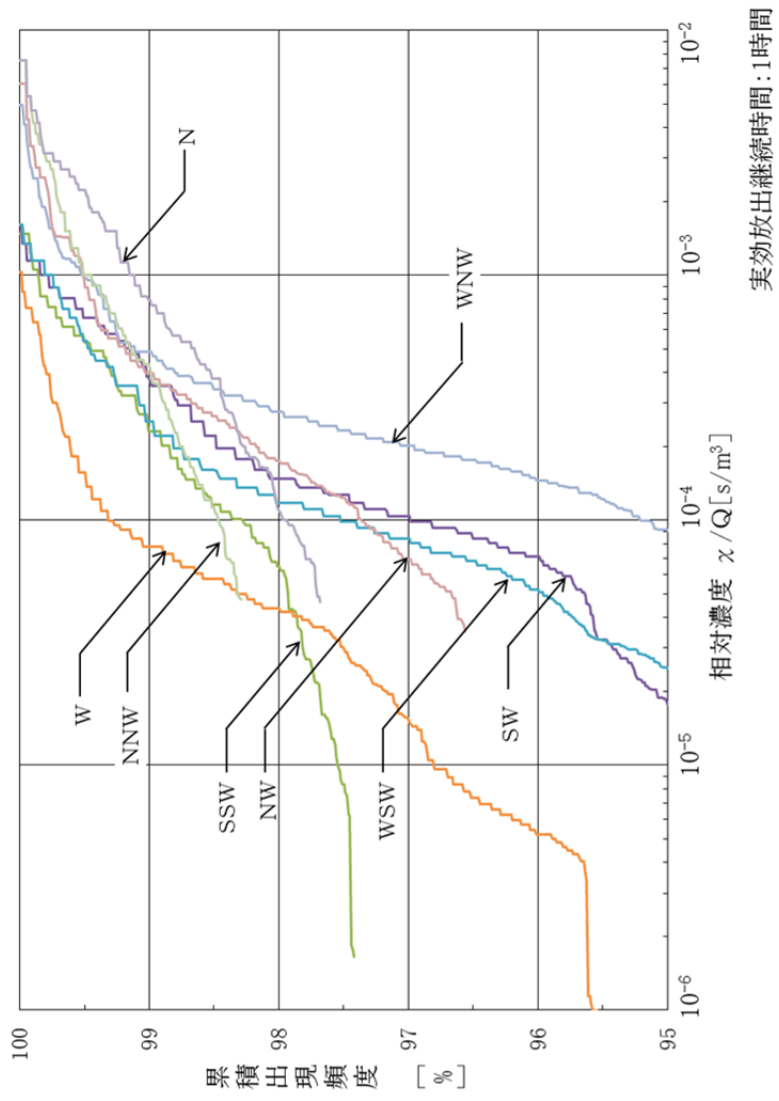
風速階級	風速 (m/s)	風速階級	風速 (m/s)
0	0.0~0.4	6	5.5~6.4
1	0.5~1.4	7	6.5~7.4
2	1.5~2.4	8	7.5~8.4
3	2.5~3.4	9	8.5~9.4
4	3.5~4.4	10	9.5 以上
5	4.5~5.4		-

添 3 イ-第 8 図 月別風速別出現頻度(2015 年 10 月~2016 年 3 月)

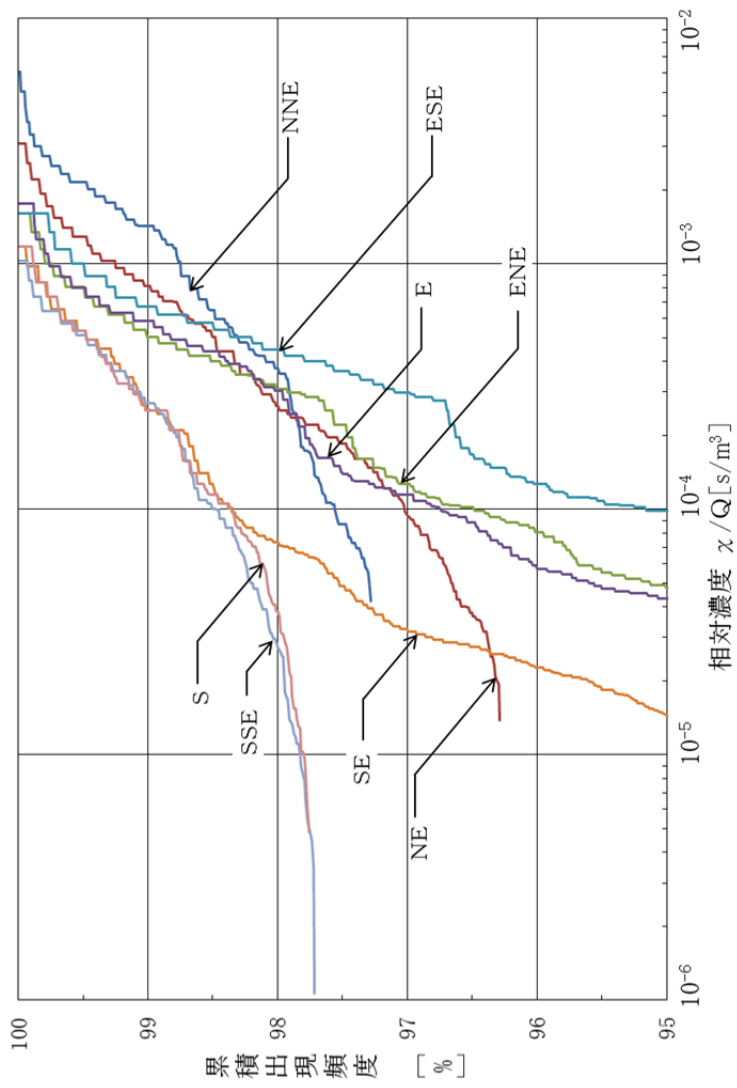


注1：年間大気安定度別出現頻度の値は、四捨五入した値を記載している。

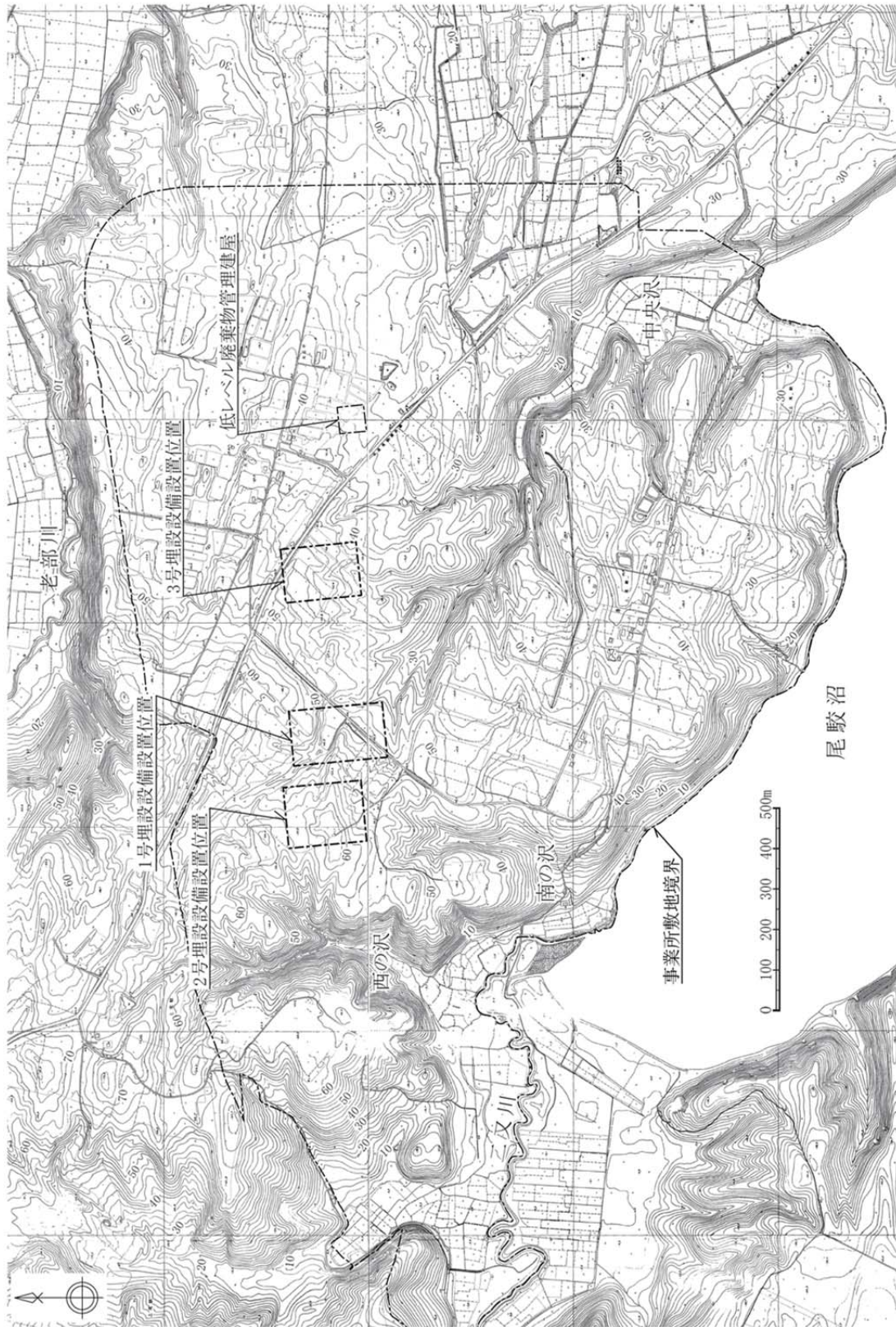
添3イ-第9図 月別及び年間大気安定度別出現頻度



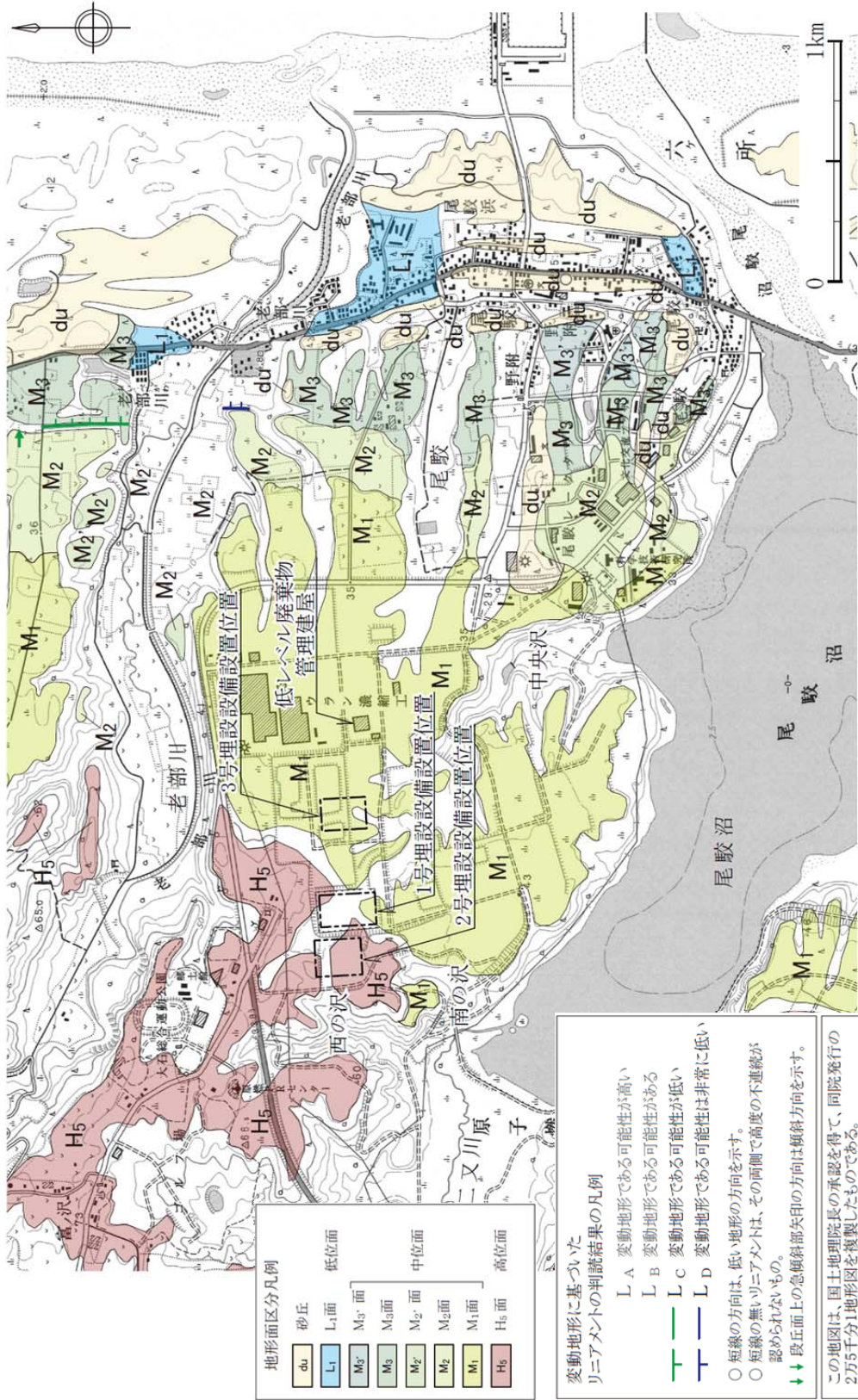
添 3 イ-第 10 図 方位別相対濃度  $\chi/Q$  の累積出現頻度 (埋設設備) (1/2)



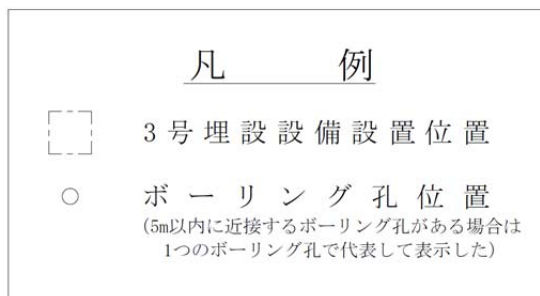
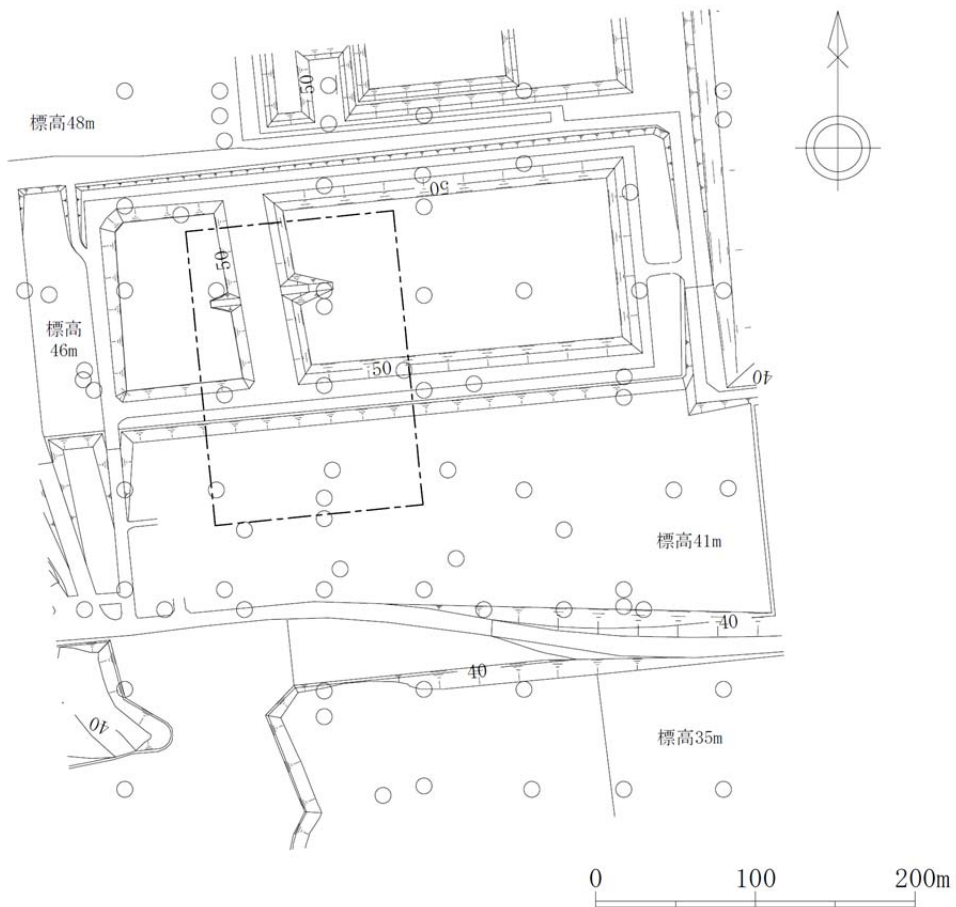
添 3 イ-第 10 図 方位別相対濃度  $\chi/Q$  の累積出現頻度 (埋設設備) (2/2)



添3ロ-第1図 事業所敷地造成前の地形



添 3 ロ - 第 2 図 事業所敷地付近の地形面区分図



表示範囲の位置図

添 3 ロ - 第 3 図 廃棄物埋設地及びその付近の調査位置図



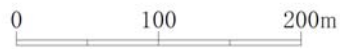
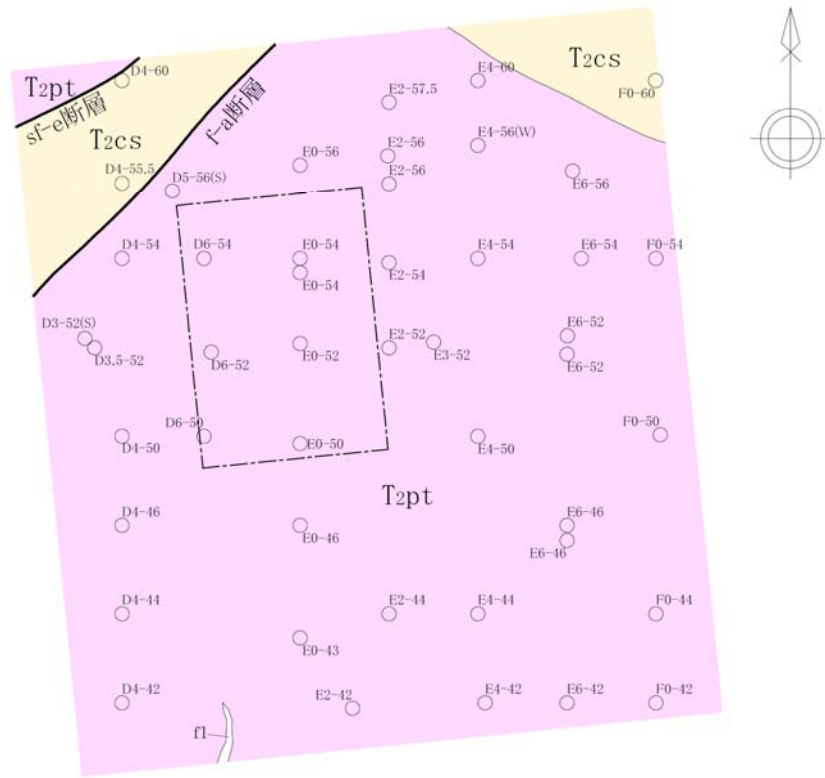
凡 例	
fl	盛 土
lm	火 山 灰 層
M1	中 位 段 丘 堆 積 層
~	地 層 境 界
□	3号埋設設備設置位置
○	ボーリング位置
A A	断面位置

表示範囲の位置図

添3ロ-第4図 廃棄物埋設地及びその付近の地質平面図\*1

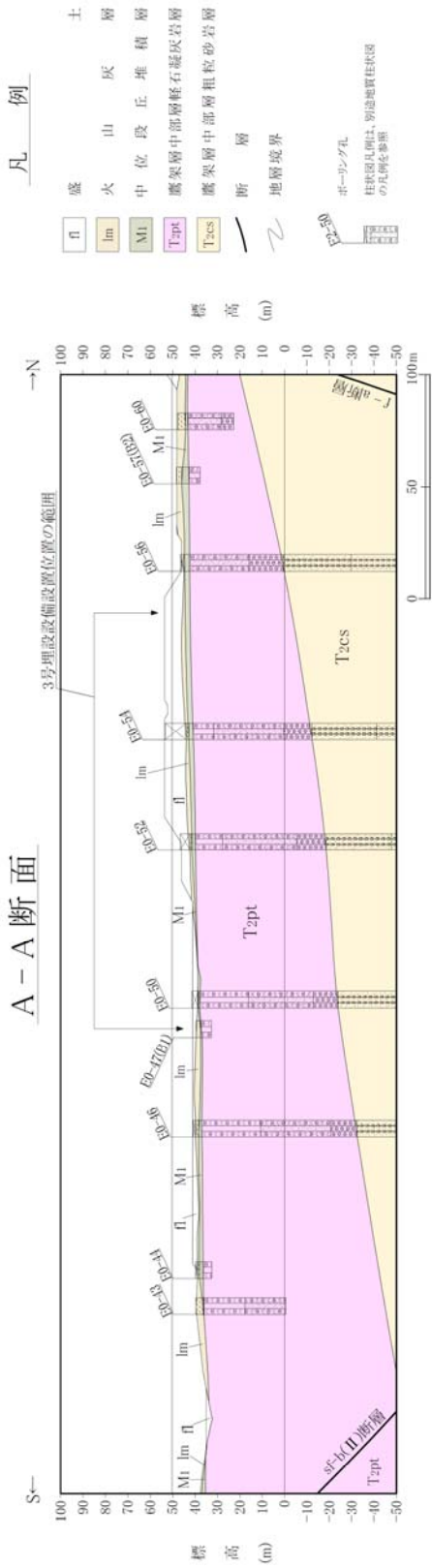
\*1: A-A側線及びB-B側線は添3ロ-第6図の断面作成位置を示す。



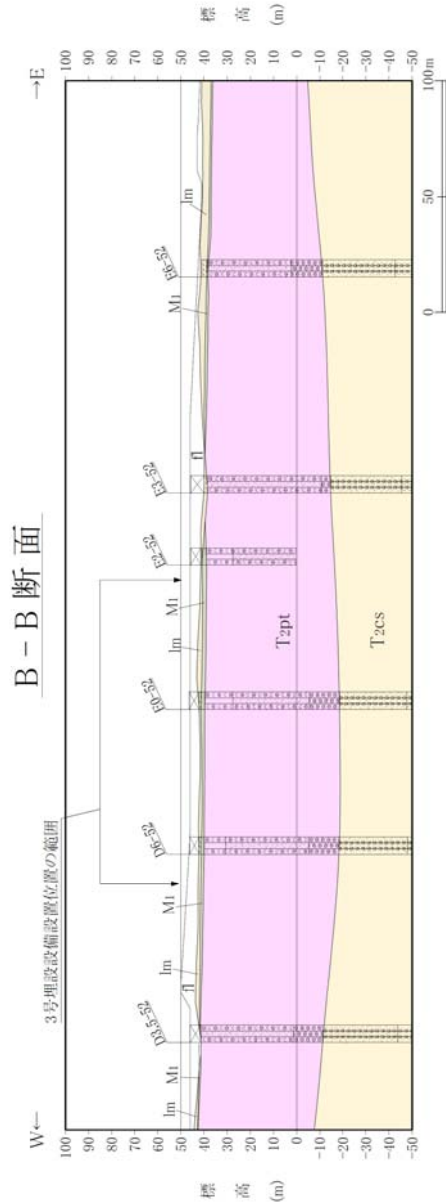


凡 例	
f1	盛 土
T2pt	鷹架層中部層軽石凝灰岩層
T2cs	鷹架層中部層粗粒砂岩層
—	断 層
~	地 層 境 界
□	3号埋設設備設置位置
○	ボ ー リ ン グ 位 置

表示範囲の位置図  
 添3ロ-第5図 廃棄物埋設地及びその付近の地質水平断面図(標高22m)



### 柱状図凡例

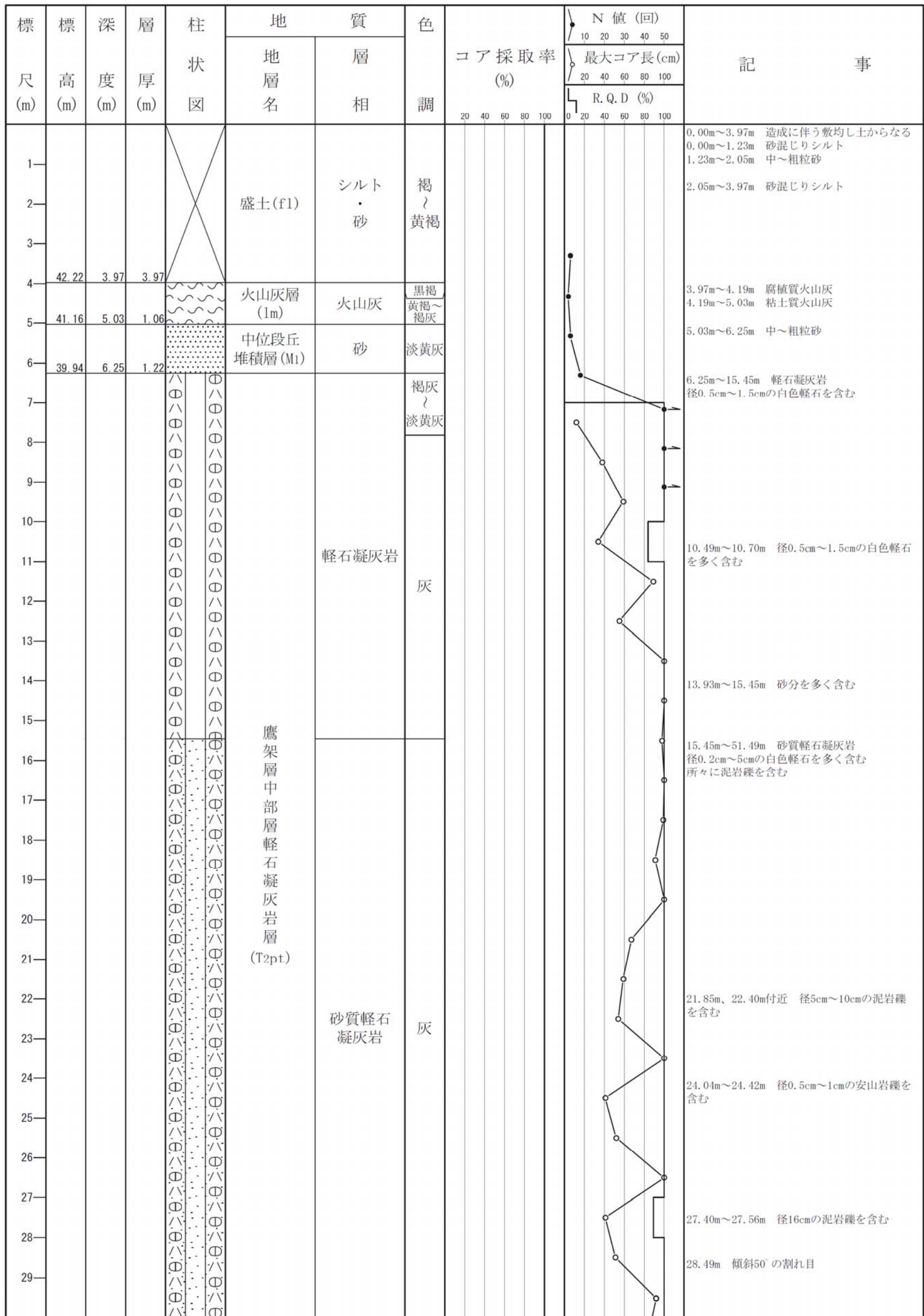


添3ロ-第6図 廃棄物埋設地及びその付近の地質断面図(上段:南北断面、下段:東西断面)\*1  
 \*1: 南北断面及び東西断面作成位置は添3ロ-第4図に示す。

孔名 D6-52

孔口標高 46.19m

掘削深度 G.L. -104.00m



注1:標準貫入試験は別孔で実施した。

添3口-第7図 地質柱状図(1/4) (D6-52孔:深度0m~30m)

孔名 D6-52

孔口標高 46.19m

掘削深度 G.L. -104.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)		記事					
					地層名	層相			最大コア長 (cm)	R. Q. D (%)						
31					鷹架層中部層軽石凝灰岩層 (T2pt)	砂質軽石凝灰岩	灰	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	20 40 60 80 100	30.79m~30.87m 傾斜60°の割れ目					
32			32.93m~33.05m 径12cmの泥岩礫を含む													
33																
34																
35																
36												淡緑灰				36.05m~36.92m 傾斜45°~70°の割れ目
37																
38																
39																38.88m~39.02m 傾斜45°~60°の割れ目
40																40.10m~41.88m 径0.5cm程度の安山岩礫をまばらに含む
41																41.50m~41.67m 軽石混り砂岩
42																
43																
44																
45																44.59m~44.61m 軽石混り砂岩
46																46.01m~46.14m 径13cmの白色軽石を含む
47																
48																
49																
50																
51																
52											51.49m~64.02m 軽石質砂岩 径0.5cm以下の白色軽石を含む					
53																
54																
55																
56							軽石質砂岩 暗灰									
57																
58																
59																

添3口-第7図 地質柱状図(2/4) (D6-52孔 : 深度30m~60m)

孔名 D6-52

孔口標高 46.19m

掘削深度 G.L. -104.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)		記事	
					地層名	層相			10 20 30 40 50	最大コア長 (cm)		
61					鷹架層中部層 (T2pt)	軽石質砂岩	暗灰				60.25m~64.02m 貝化石片を含む	
62												61.13m~64.02m 径0.2cm~1.5cmの安山岩礫を含む
63											64.02m~64.51m 礫岩 径0.5cm~2.5cmの安山岩の亜角~亜円礫からなる 貝化石片を含む	
64	-18.32	64.51	58.26			礫岩	暗灰					64.51m~94.09m 中~粗粒砂岩 傾斜0°~15°程度の葉理がみられ、貝化石片を多く含む
65					鷹架層中部層粗粒砂岩層 (T2cs)	砂岩	暗灰					
66												
67												
68												
69												
70												
71												
72												
73												
74												
75												
76												
77												
78												
79												
80												
81												
82												
83												
84												
85												
86												
87												
88												
89												

添3口-第7図 地質柱状図(3/4) (D6-52孔: 深度60m~90m)

孔名 D6-52

孔口標高 46.19m

掘削深度 G.L. -104.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)	最大コア長 (cm)	R. Q. D (%)	記事
					地層名	層相						
91					鷹架層中部層粗粒砂岩層 (T2cs)	砂岩	暗灰	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	20 40 60 80 100	0 20 40 60 80 100	64.51m~94.09m 中~粗粒砂岩 傾斜0°~15°程度の葉理がみられ、貝化石片を多く含む 90.45m~94.09m 径5cm程度の比較的保存の良い貝化石を含む
92												94.09m~104.00m 粗粒砂岩 傾斜5°~15°程度の葉理が顕著であり、貝化石片を含む 95.35m~95.80m 傾斜45°~55°程度の葉理がみられる
93												
94												
95												
96												
97												
98												
99												
100												
101												100.40m~102.51m 径1cm以下の安山岩礫、 径1cm~2cmの貝化石片を含む
102												
103												
	-57.81	104.00	39.49									

添3口-第7図 地質柱状図(4/4) (D6-52孔 : 深度90m~104m)



孔名 E0-50

孔口標高 41.29m

掘削深度 G.L. -99.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地層名	質層相	色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)		記事																											
									20	40		60	80	100																								
31					鷹架層中部層軽石凝灰岩層 (T2pt)	砂質軽石凝灰岩	灰	20 40 60 80 100	10	20	25.23m~54.22m 砂質軽石凝灰岩 径0.2cm~5cmの白色軽石を多く含む 所々に泥岩礫を含む																											
32			20						40	最大コア長 (cm)																												
33			20						40			R. Q. D (%)																										
34			20						40				33.12m~33.24m 径12cmの泥岩礫を含む																									
35			20						40					34.76m~35.58m 径82cmの泥岩礫を含む																								
36			20						40						45.98m~46.54m 軽石混り砂岩 貝化石片を含む																							
37			20						40							54.22m~65.23m 軽石質砂岩 径0.5cm以下の白色軽石を多く含む																						
38			20						40								55.90m~55.97m 傾斜20°~25°の割れ目																					
39			20						40									57.95m~65.23m 貝化石片を含む																				
40			20						40										軽石質砂岩 暗灰																			
41			20						40																													
42			20						40																													
43			20						40																													
44			20						40																													
45			20						40																													
46			20						40																													
47			20						40																													
48			20						40																													
49			20						40																													
50			20						40																													
51			20						40																													
52			20						40																													
53			20						40																													
54			20						40																													
55			20						40																													
56			20						40																													
57			20						40																													
58			20						40																													
59			20						40																													

添3口-第8図 地質柱状図(2/4) (E0-50孔: 深度30m~60m)



孔名 E0-50

孔口標高 41.29m

掘削深度 G.L. -99.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)		記事							
					地層名	層相			10 20 30 40 50	最大コア長 (cm)								
61					鷹架層中部層 (T2pt)	軽石質砂岩	暗灰				54.22m~65.23m 軽石質砂岩 径0.5cm以下の白色軽石を多く含む							
62																62.70m~65.23m 径0.5cm~1cmの安山岩礫を含む		
63																		
64																		
65	-23.94	65.23	61.77		鷹架層中部層粗粒砂岩層 (T2cs)	砂岩	暗灰				65.23m~99.00m 中~粗粒砂岩 傾斜5°~20°程度の葉理がみられ、貝化石片を多く含む							
66																		
67																		
68																		
69																		
70																		
71																		
72																		
73																		
74																		
75																		
76																		
77																		
78																		
79																		
80																		
81																		
82																		
83																		
84																		
85																		
86																		
87																		
88																		
89											89.29m以深 径5cm程度の比較的保存の良い貝化石を含む							

添3口-第8図 地質柱状図(3/4) (E0-50孔 : 深度60m~90m)

孔名 E0-50

孔口標高 41.29m

掘削深度 G.L. -99.00m

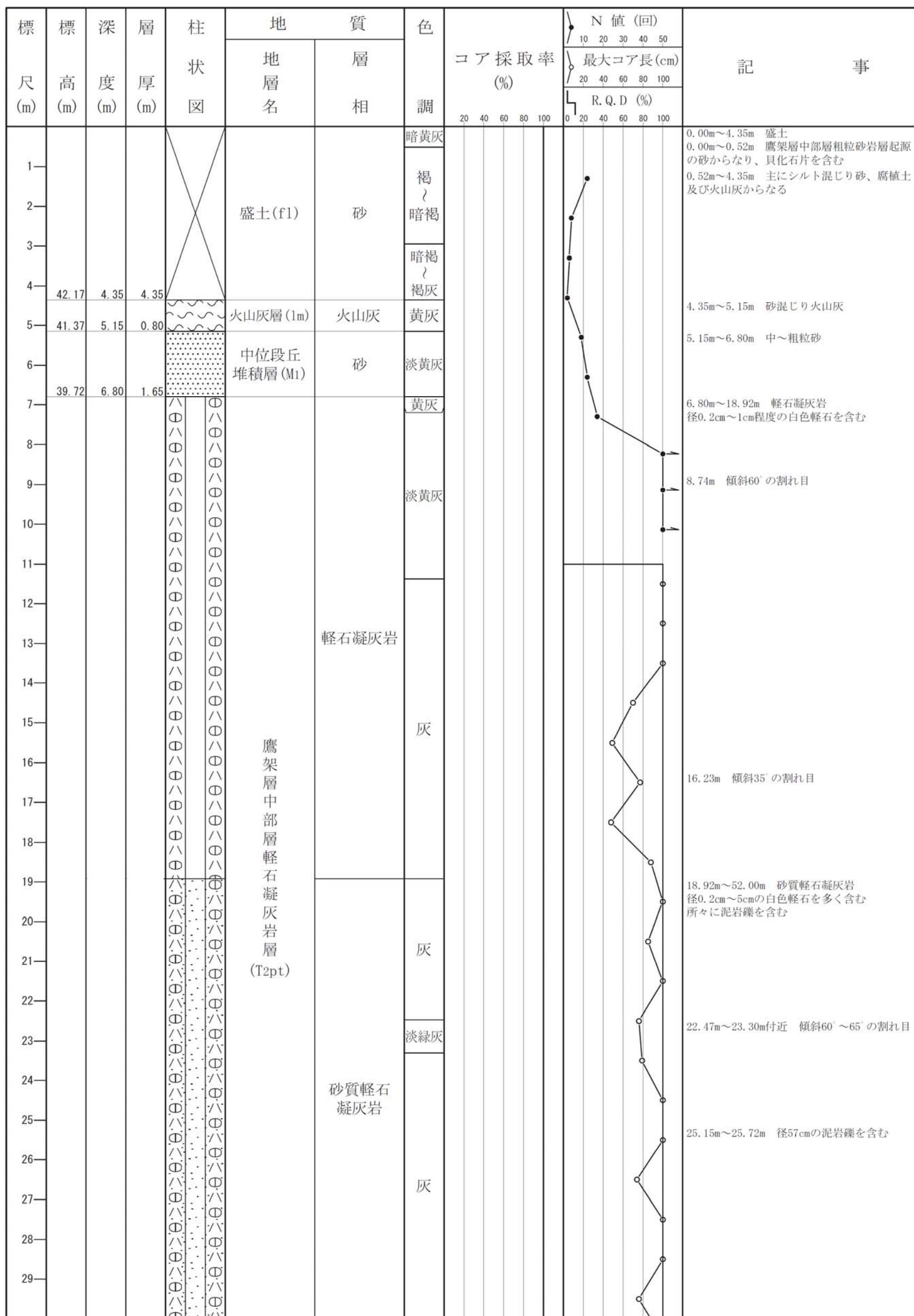
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)	最大コア長 (cm)	R. Q. D (%)	記事
					地層名	層相						
91	-57.71	99.00	33.77		鷹架層中部層粗粒砂岩層 (T2cs)	砂岩	暗灰	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	20 40 60 80 100	0 20 40 60 80 100	65.23m~99.00m 中~粗粒砂岩 傾斜5°~20°程度の葉理がみられ、貝化石片を多く含む 89.29m以深 径5cm程度の比較的保存の良い貝化石を含む
92												
93												
94												
95												
96												
97												
98												

添3口-第8図 地質柱状図(4/4) (E0-50 孔 : 深度 90m~99m)

孔名 E0-52

孔口標高 46.52m

掘削深度 G.L. -174.00m



添3口-第9図 地質柱状図(1/6) (E0-52 孔 : 深度 0m~30m)

孔名 E0-52

孔口標高 46.52m

掘削深度 G.L. -174.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)		記事								
					地層名	層相			10 20 30 40 50	最大コア長 (cm)									
31					鷹架層中部層軽石凝灰岩層 (T2pt)	砂質軽石凝灰岩	灰				18.92m~52.00m 砂質軽石凝灰岩 径0.2cm~5cmの白色軽石を多く含む 所々に泥岩礫を含む								
32																			
33																			
34																			
35																			
36																			
37																			
38																			
39																			
40																			
41																			
42																			39.25m~41.81m 所々に径5cm~12cmの泥岩礫を含む
43																			
44																			
45																			
46																			
47																			
48																			
49																			
50																			50.13m~50.68m 傾斜45°~50°の葉理がみられる
51																			
52											52.00m~65.07m 軽石質砂岩 径0.5cm以下の白色軽石を含む								
53																			
54																			
55																			
56																			
57																			
58																			
59																			

添3口-第9図 地質柱状図(2/6) (E0-52 孔 : 深度 30m~60m)

孔名 E0-52

孔口標高 46.52m

掘削深度 G.L. -174.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)		記事					
					地層名	層相			最大コア長 (cm)	R. Q. D (%)						
61					鷹架層中部層 (T2pt)	軽石質砂岩	暗灰	20 40 60 80 100	10 20 30 40 50	20 40 60 80 100	52.00m~65.07m 軽石質砂岩 径0.5cm以下の白色軽石を含む 60.12m~65.07m 貝化石片を含む					
62															63.56m~65.07m 径0.2cm~2cmの安山岩礫を含む	
63					鷹架層中部層粗粒砂岩層 (T2cs)	砂岩	暗灰	20 40 60 80 100	0 20 40 60 80 100	0 20 40 60 80 100	65.07m~94.15m 中~粗粒砂岩 傾斜0°~25°程度の葉理がみられ、貝化石片を多く含む					
64																
65	-18.55	65.07	58.27													
66																
67																
68																
69																
70																
71																
72																
73																
74																
75																
76																
77																
78																
79																
80																
81																
82																
83																
84																
85																
86																85.92m~88.96m 径0.2cm~1cmの安山岩礫を含む
87																
88																
89																

添3口-第9図 地質柱状図(3/6) (E0-52 孔 : 深度 60m~90m)

孔名 E0-52

孔口標高 46.52m

掘削深度 G.L. -174.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)		記事																					
					地層名	層相			10 20 30 40 50	20 40 60 80 100																						
91					鷹架層中部層粗粒砂岩層 (T2cs)	砂岩	暗灰	20 40 60 80 100	N 値 (回)		65.07m~94.15m 中~粗粒砂岩 傾斜0°~25°程度の葉理がみられ、貝化石片を多く含む 90.95m~94.15m 径5cm程度の比較的保存の良い貝化石を多く含む																					
92															10 20 30 40 50	94.15m~174.00m 粗粒砂岩 傾斜0°~25°程度の葉理が顕著であり、貝化石片を多く含む																
93															20 40 60 80 100		101.56m~102.15m 径0.2cm~2cmの安山岩礫や径2cm~5cmの貝化石片を含む															
94															0 20 40 60 80 100			110.55m以深 貝化石片が多くなり、傾斜0°~25°の葉理が顕著になる														
95																			R. Q. D (%)													
96																				0 20 40 60 80 100												
97																					0 20 40 60 80 100											
98																						0 20 40 60 80 100										
99																							0 20 40 60 80 100									
100																								0 20 40 60 80 100								
101																									0 20 40 60 80 100							
102																										0 20 40 60 80 100						
103																											0 20 40 60 80 100					
104																												0 20 40 60 80 100				
105																													0 20 40 60 80 100			
106																														0 20 40 60 80 100		
107																															0 20 40 60 80 100	
108																																0 20 40 60 80 100
109																																
110										0 20 40 60 80 100																						
111											0 20 40 60 80 100																					
112												0 20 40 60 80 100																				
113													0 20 40 60 80 100																			
114														0 20 40 60 80 100																		
115															0 20 40 60 80 100																	
116																0 20 40 60 80 100																
117																	0 20 40 60 80 100															
118																		0 20 40 60 80 100														
119																			0 20 40 60 80 100													

添3口-第9図 地質柱状図(4/6) (E0-52孔 : 深度90m~120m)

孔名 E0-52

孔口標高 46.52m

掘削深度 G.L. -174.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)		記事							
					地層名	層相			10 20 30 40 50	最大コア長 (cm)								
121					鷹架層中部層粗粒砂岩層 (T2cs)	粗粒砂岩	暗灰				<p>94.15m~174.00m 粗粒砂岩 傾斜0°~25°程度の葉理が顕著であり、貝化石片を多く含む</p> <p>145.15m付近、145.50m付近 傾斜40°~60°の葉理がみられる</p> <p>146.65m~148.41m 所々に径0.3cm~1cmの安山岩礫を多く含む</p>							
122																		
123																		
124																		
125																		
126																		
127																		
128																		
129																		
130																		
131																		
132																		
133																		
134																		
135																		
136																		
137																		
138																		
139																		
140																		
141																		
142																		
143																		
144																		
145																		
146																		
147																		
148																		
149																		

添3口-第9図 地質柱状図(5/6) (E0-52 孔 : 深度 120m~150m)

孔名 E0-52

孔口標高 46.52m

掘削深度 G.L. -174.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)			記事				
					地層名	層相			10	20	30					
151					鷹架層中部層粗粒砂岩層 (T2cs)	粗粒砂岩	暗灰		94.15m~174.00m 粗粒砂岩 傾斜0°~25°程度の葉理が顕著であり、貝化石片を多く含む							
152																
153																
154																
155																
156																
157																
158																
159																
160																
161																
162																
163																
164																
165																
166																
167																
168																
169																
170											170.28m~171.28m 径0.5cm~3cmの安山岩礫を多く含む					
171																
172																
173																
	-127.48	174.00	108.93													

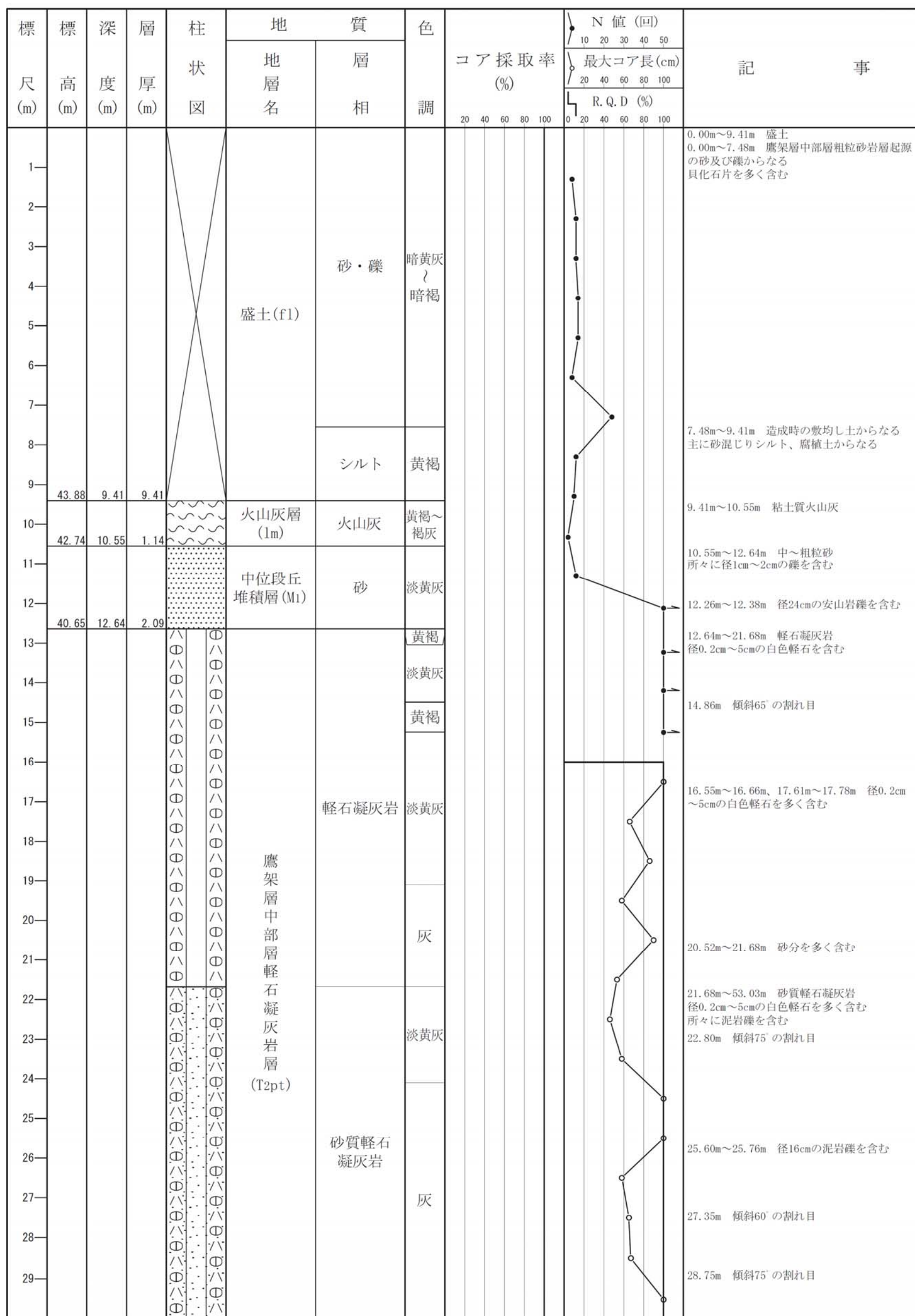
添3口-第9図 地質柱状図(6/6) (E0-52 孔 : 深度 150m~174m)



孔名 E0-54

孔口標高 53.29m

掘削深度 G.L. -111.00m



添3口-第10図 地質柱状図(1/4) (E0-54孔: 深度0m~30m)

孔名 E0-54

孔口標高 53.29m

掘削深度 G.L. -111.00m

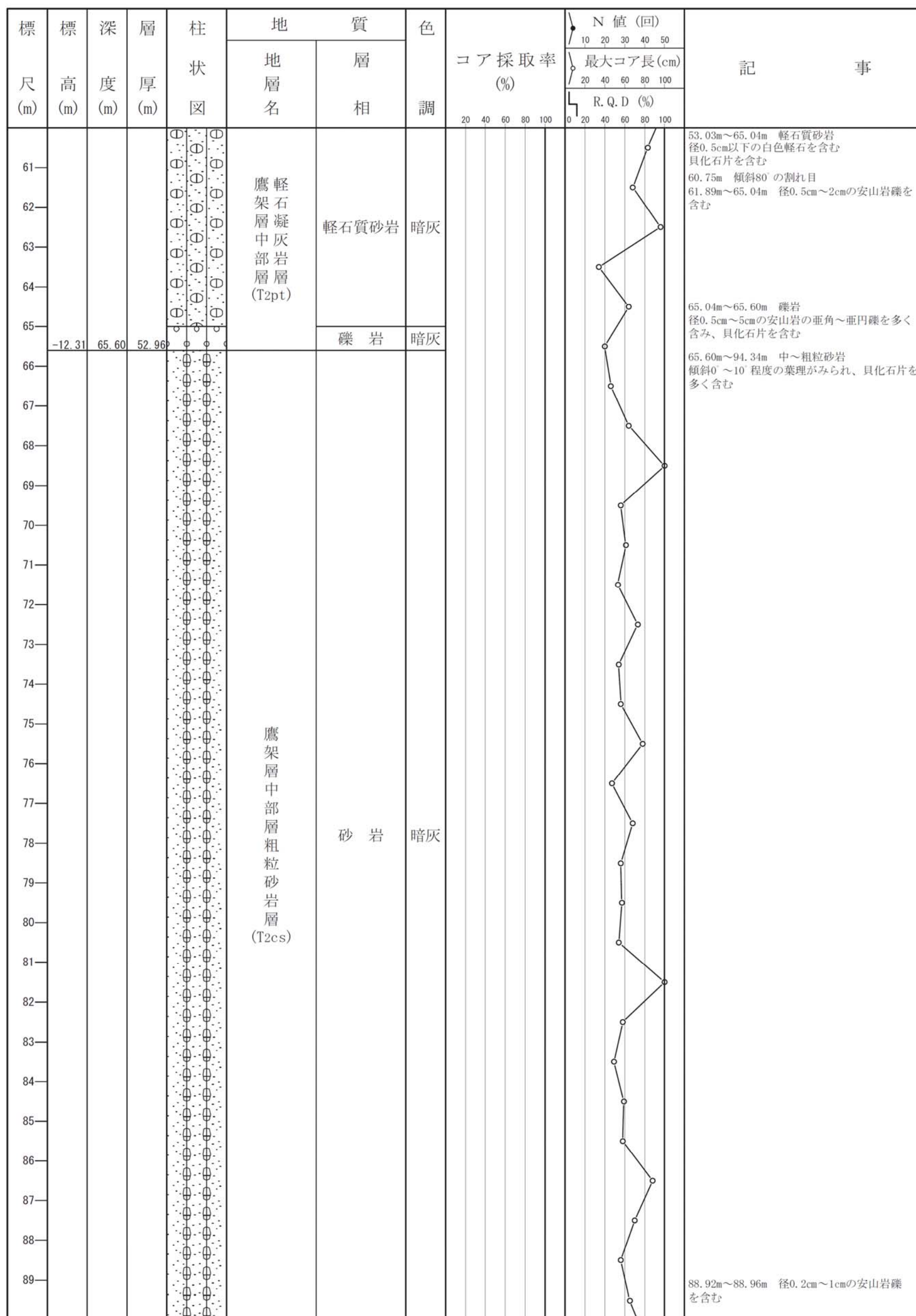
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)		記事							
					地層名	層相			10 20 30 40 50	最大コア長 (cm)								
31					鷹架層中部層軽石凝灰岩層 (T2pt)	砂質軽石凝灰岩	灰				21.68m~53.03m 砂質軽石凝灰岩 径0.2cm~5cmの白色軽石を多く含む 所々に泥岩礫を含む							
32																		
33																		
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		38.80m付近 径7cmの泥岩礫を含む
40																		
41																		
42																		41.46m~41.64m 径18cmの泥岩礫を含む
43																		43.19m付近 径11cmの泥岩礫を含む
44																		
45																		
46																		
47																		
48																		48.21m~48.43m 傾斜20°~45°の葉理がみられる
49																		
50																		
51																		
52																		
53											53.03m~65.04m 軽石質砂岩 径0.5cm以下の白色軽石を含む 貝化石片を含む							
54																		
55																		
56																		
57																		
58																		
59																		

添3口-第10図 地質柱状図(2/4) (E0-54孔 : 深度30m~60m)

孔名 E0-54

孔口標高 53.29m

掘削深度 G.L. -111.00m



添3口-第10図 地質柱状図(3/4)(E0-54孔:深度60m~90m)

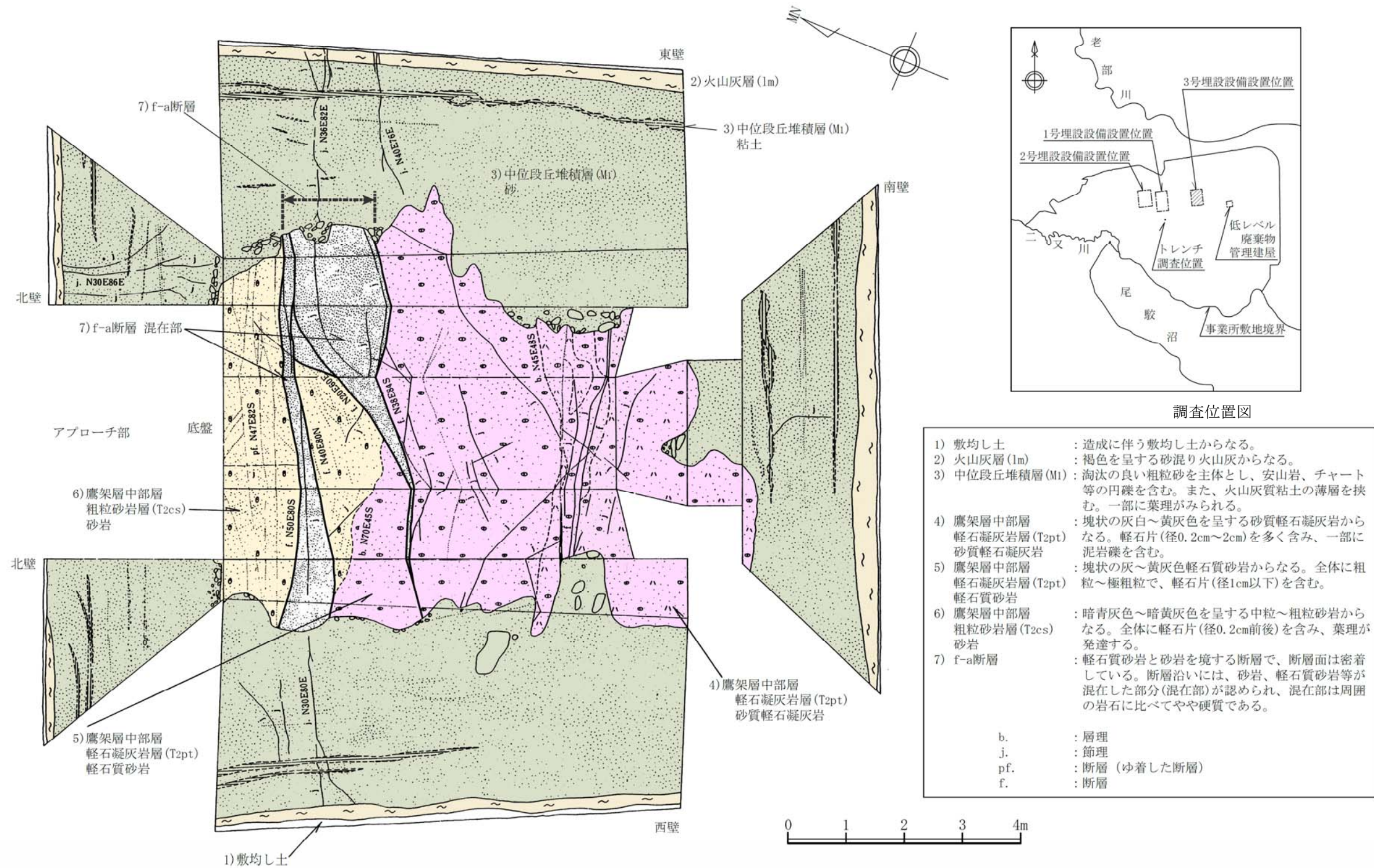
孔名 E0-54

孔口標高 53.29m

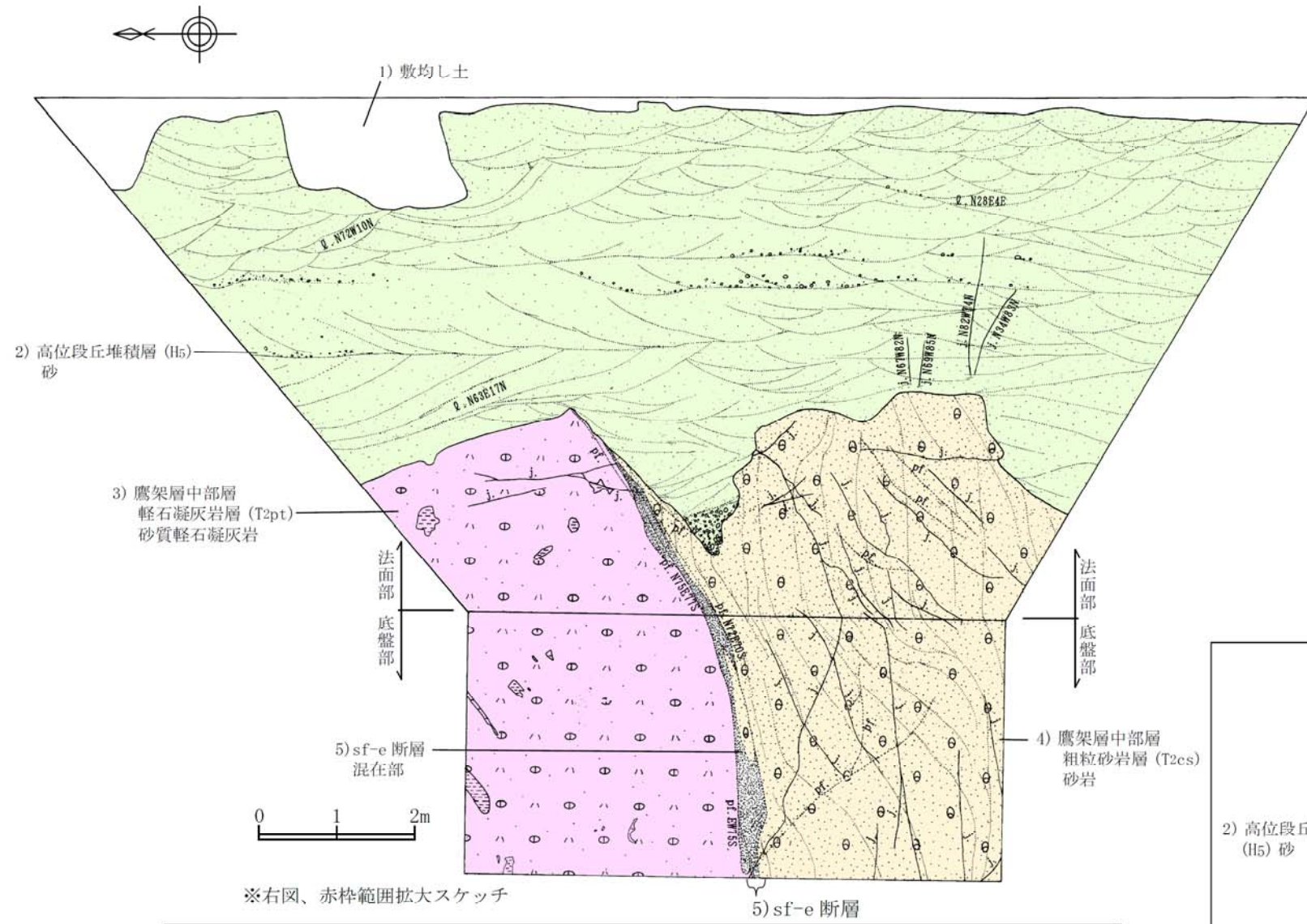
掘削深度 G.L. -111.00m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	地質		色調	コア採取率 (%)	N 値 (回)		記事								
					地層名	層相			10 20 30 40 50	最大コア長 (cm)									
91					鷹架層中部層粗粒砂岩層 (T2cs)	砂岩	暗灰				<p>65.60m~94.34m 中~粗粒砂岩 傾斜0°~10°程度の葉理がみられ、貝化石片を多く含む</p> <p>91.30m~94.34m 径5cm程度の比較的保存の良い貝化石を含む</p> <p>94.34m~111.00m 粗粒砂岩 傾斜0°~15°程度の葉理がみられ、貝化石片を多く含む</p> <p>100.30m~103.43m 径0.2cm~1.5cmの安山岩礫及び軽石を多く含み、径1cm~3cmの貝化石片を含む</p>								
92																			
93																			
94																			
95																			
96																			
97																			
98																			
99																			
100																			
101																			
102																			
103																			
104																			
105																			
106																			
107																			
108																			
109																			
110																			
	-57.71	111.00	45.40																

添3口-第10図 地質柱状図(4/4) (E0-54孔 : 深度90m~111m)

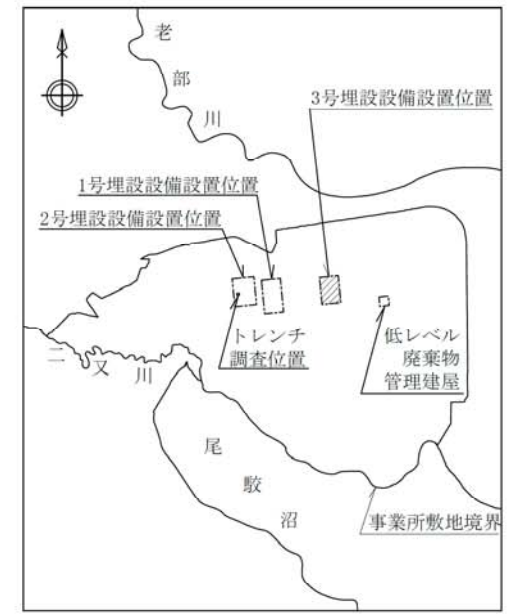


添3ロ-第11図 トレンチ調査結果 (f-a断層)

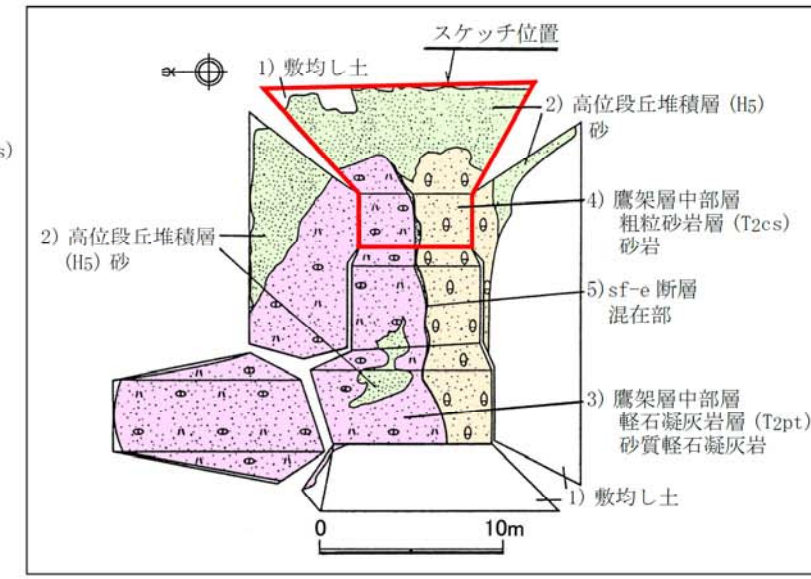


※右図、赤枠範囲拡大スケッチ

- |                                 |   |                   |
|---------------------------------|---|-------------------|
| 1) 敷均し土                         | : 造成に伴う敷均し土からなる。  | 0. : 葉理           |
| 2) 高位段丘堆積層 (H5) 砂               | : 黄褐色～灰褐色を呈する中～粗粒砂からなる。所々に安山岩、チャートの亜角～亜円礫 (径 0.5cm ~ 10cm) を含む。葉理がみられる。 | j. : 節理           |
| 3) 鷹架層中部層 軽石凝灰岩層 (T2pt) 砂質軽石凝灰岩 | : 塊状の灰白～黄灰色を呈する砂質軽石凝灰岩からなる。軽石片 (径 0.2cm ~ 2cm) を多く含み、一部に泥岩礫を含む。         | pf. : 断層 (ゆ着した断層) |
| 4) 鷹架層中部層 粗粒砂岩層 (T2cs) 砂岩       | : 暗黄灰色を呈する中粒～粗粒砂岩からなる。軽石片 (径 0.2cm 前後) や貝化石片を含み、葉理が発達する。                |                   |
| 5) sf-e 断層 混在部                  | : 砂岩、砂質軽石凝灰岩等が混在した部分 (混在部) からなる。周囲の岩石に比べてやや硬質である。                       |                   |

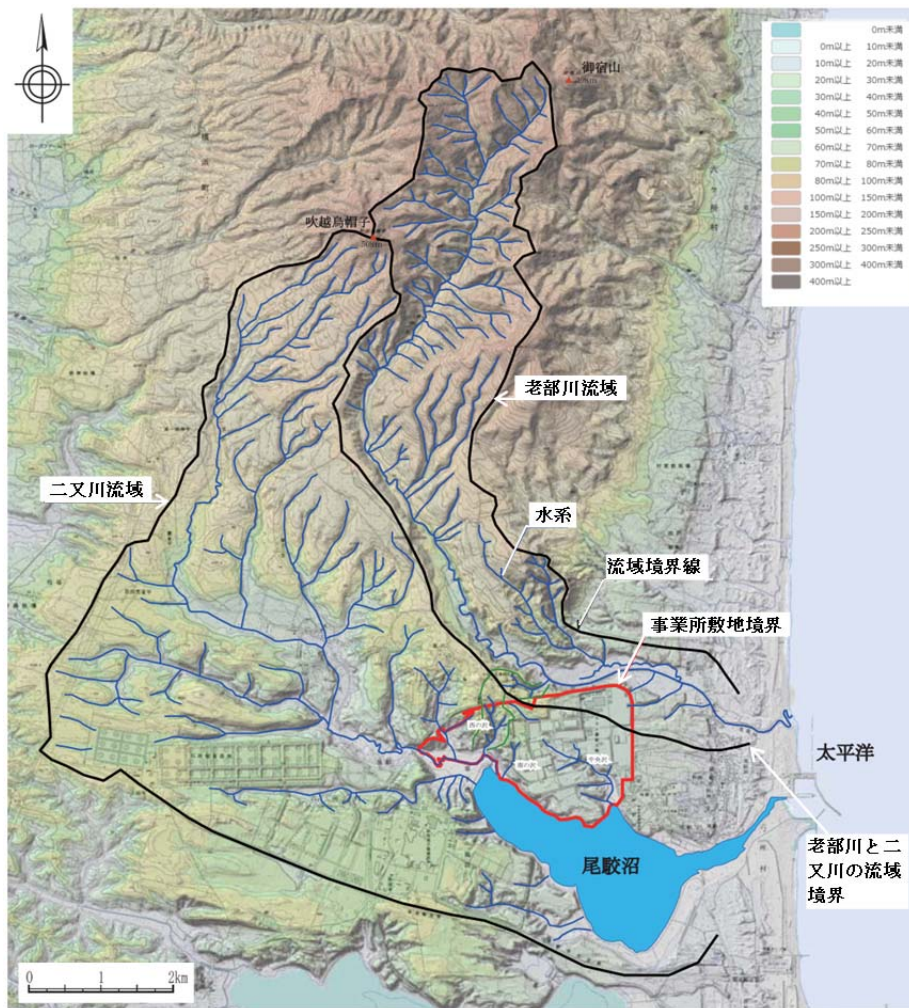


調査位置図



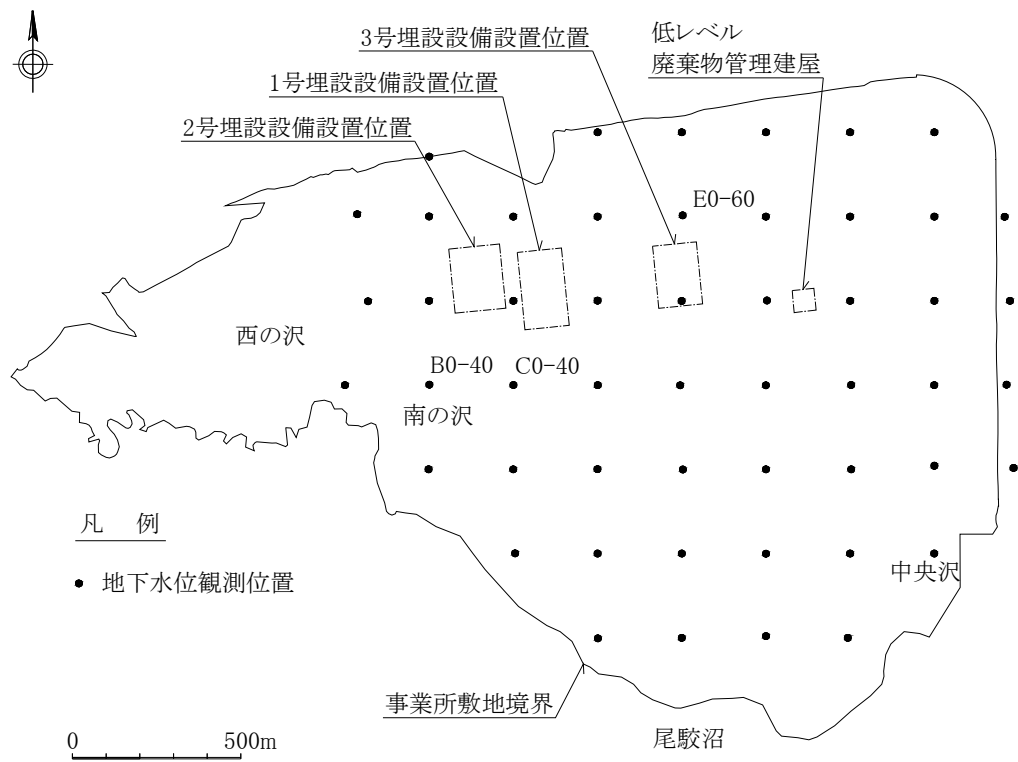
トレンチ形状及びスケッチ位置図

添3ロ-第12図 トレンチ調査結果 (sf-e断層)



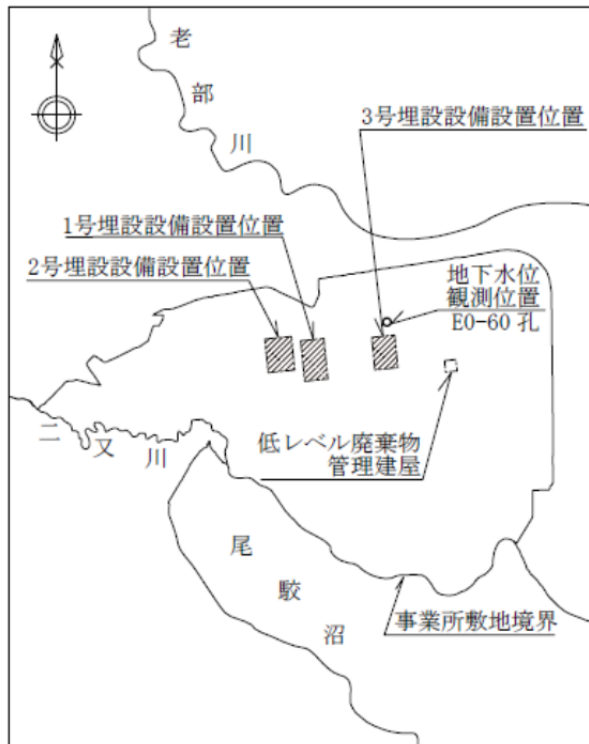
\*1 : 国土地理院のウェブ地図「地理院地図」(<https://maps.gsi.go.jp/>) で作成。

添 3 ハ-第 1 図 事業所敷地周辺の地形と水系

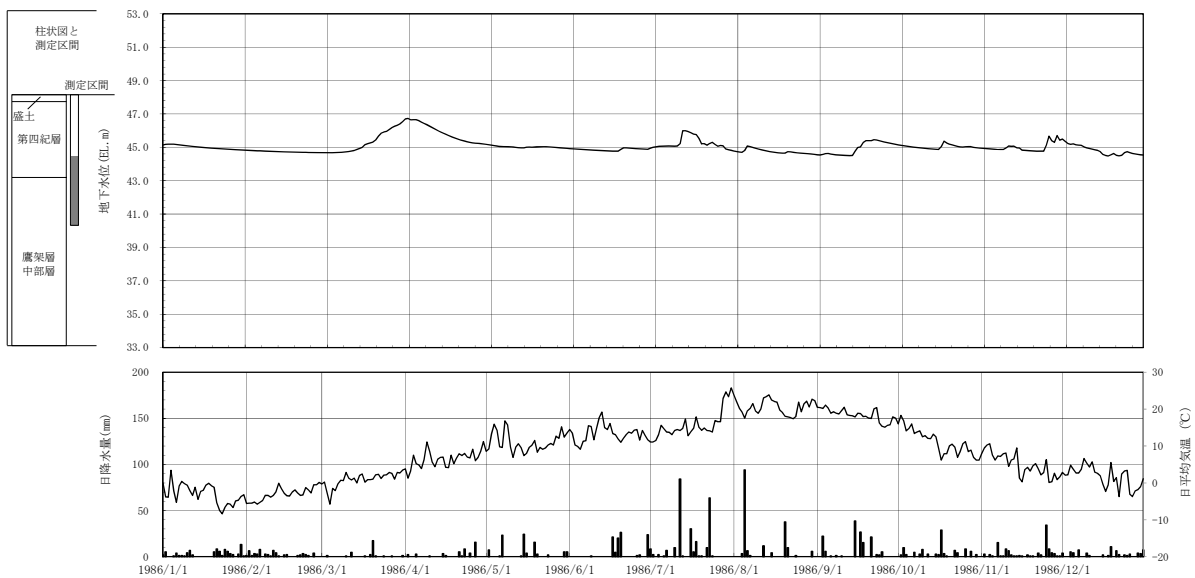


添 3 ハ-第 2 図 地下水位観測位置図(1986 年)





地下水位観測位置

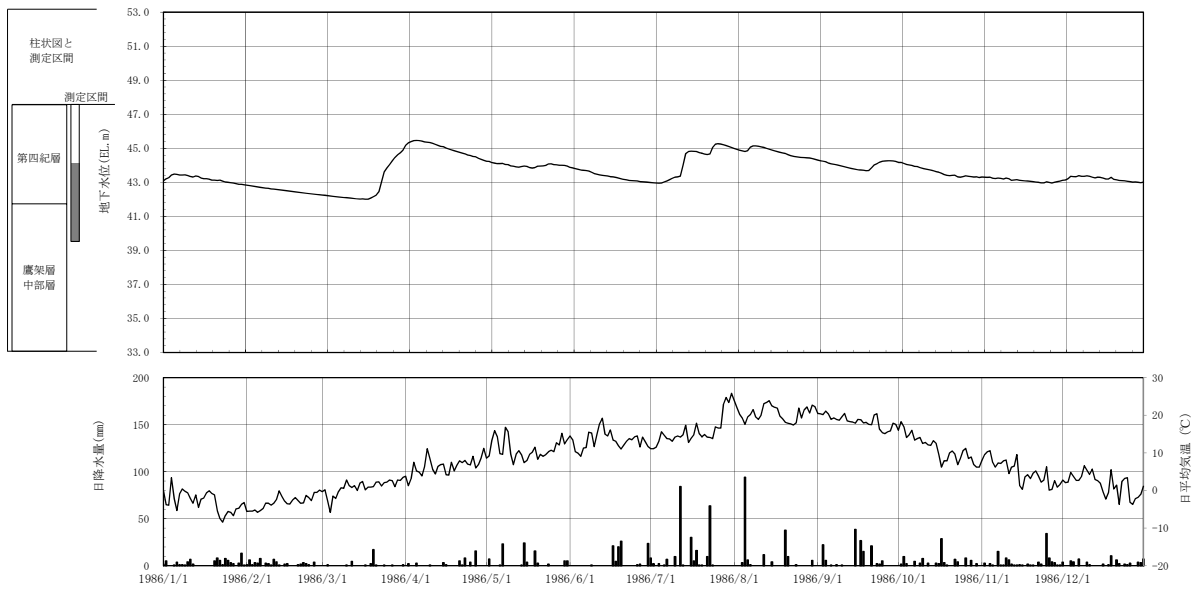


地下水位、日降水量及び日平均気温の時系列データ

添 3 ハ-第 3 図 地下水位観測結果 (1/3)  
(1986 年 1 月 1 日～1986 年 12 月 31 日 : E0-60 孔)



地下水位観測位置



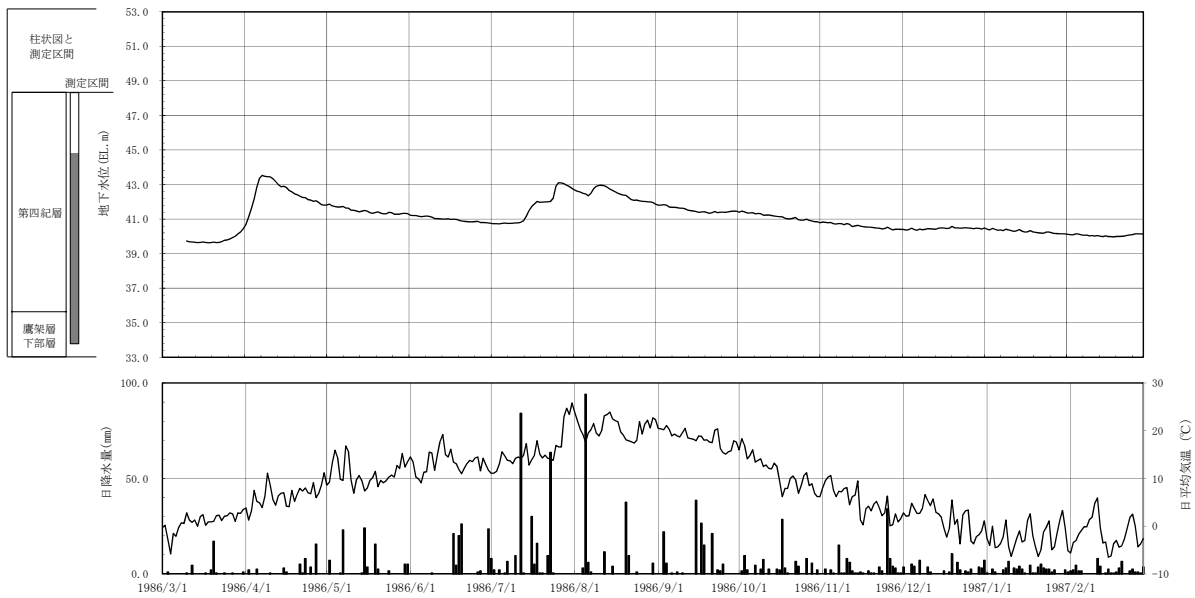
地下水位、日降水量及び日平均気温の時系列データ

添 3 ハ-第 3 図 地下水位観測結果 (2/3)

(1986 年 1 月 1 日～1986 年 12 月 31 日 : C0-40 孔)



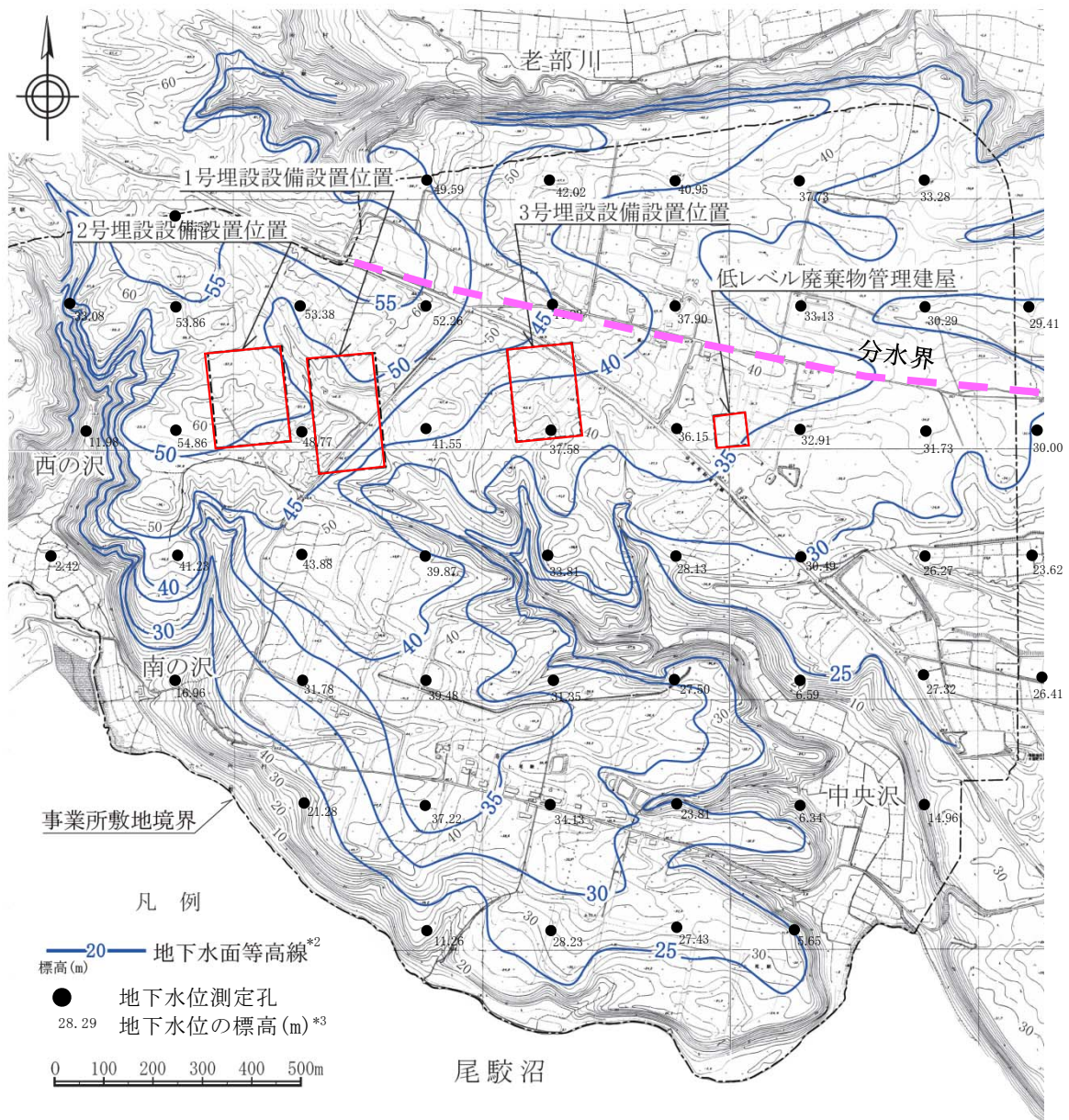
地下水位観測位置



地下水位、日降水量及び日平均気温の時系列データ

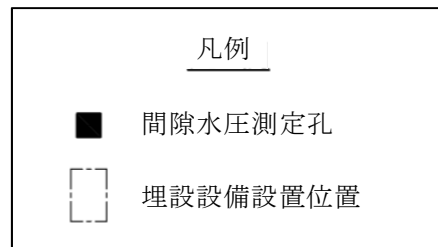
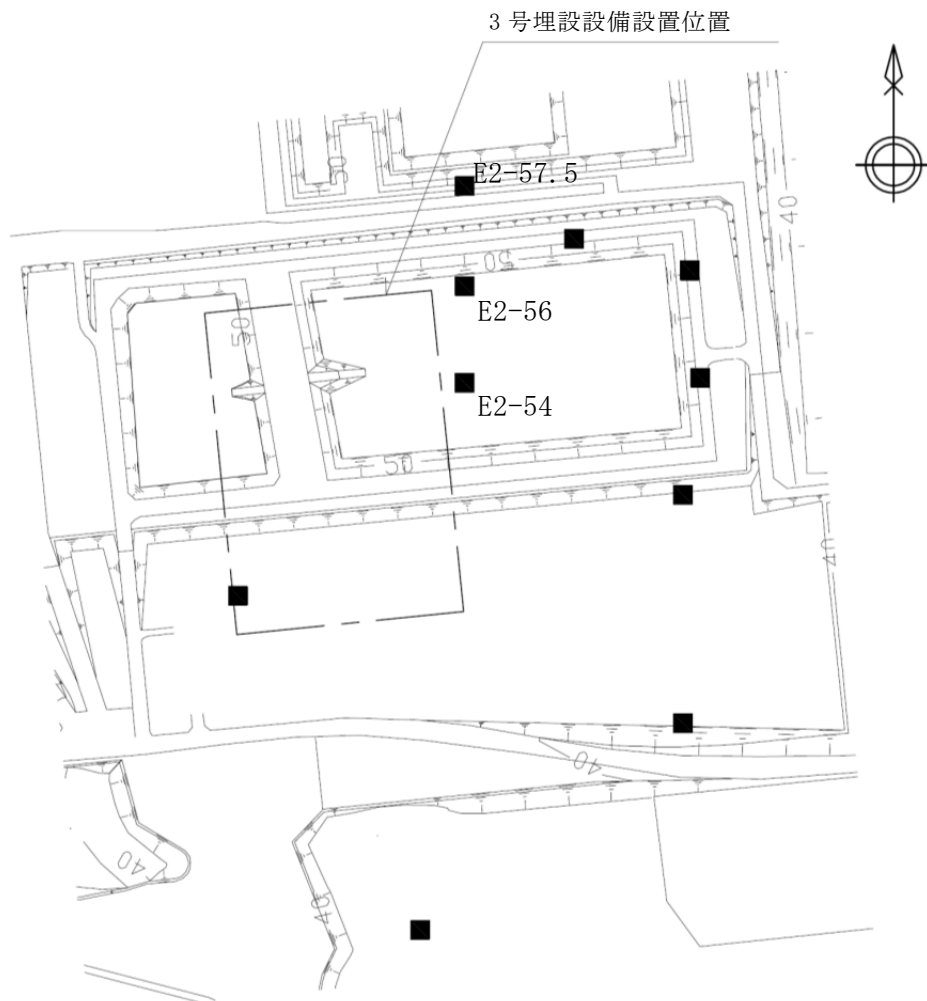
添 3 ハ-第 3 図 地下水位観測結果(3/3)

(1986 年 3 月 1 日～1987 年 2 月 28 日 : B0-40 孔)



- \*1：事業所敷地造成前の1986年6月の地下水位測定データを基に地形形状を勘案して作成した。
- \*2：地下水面標高等高線の精度は、250m グリット間隔程度の場合、一般的に地下水面と地形面分布が調和的であることから、地下水面勾配が地形面勾配に等しいと仮定し、事業所敷地内の地形勾配を2%とすると、地下水位測定孔間(孔間距離250m)の地下水位の差は5mとなり、孔間に5m間隔の地下水面等高線が引ける程度の精度となる。
- \*3：地下水面標高の測定データである地下水位の測定精度は±0.05mである。

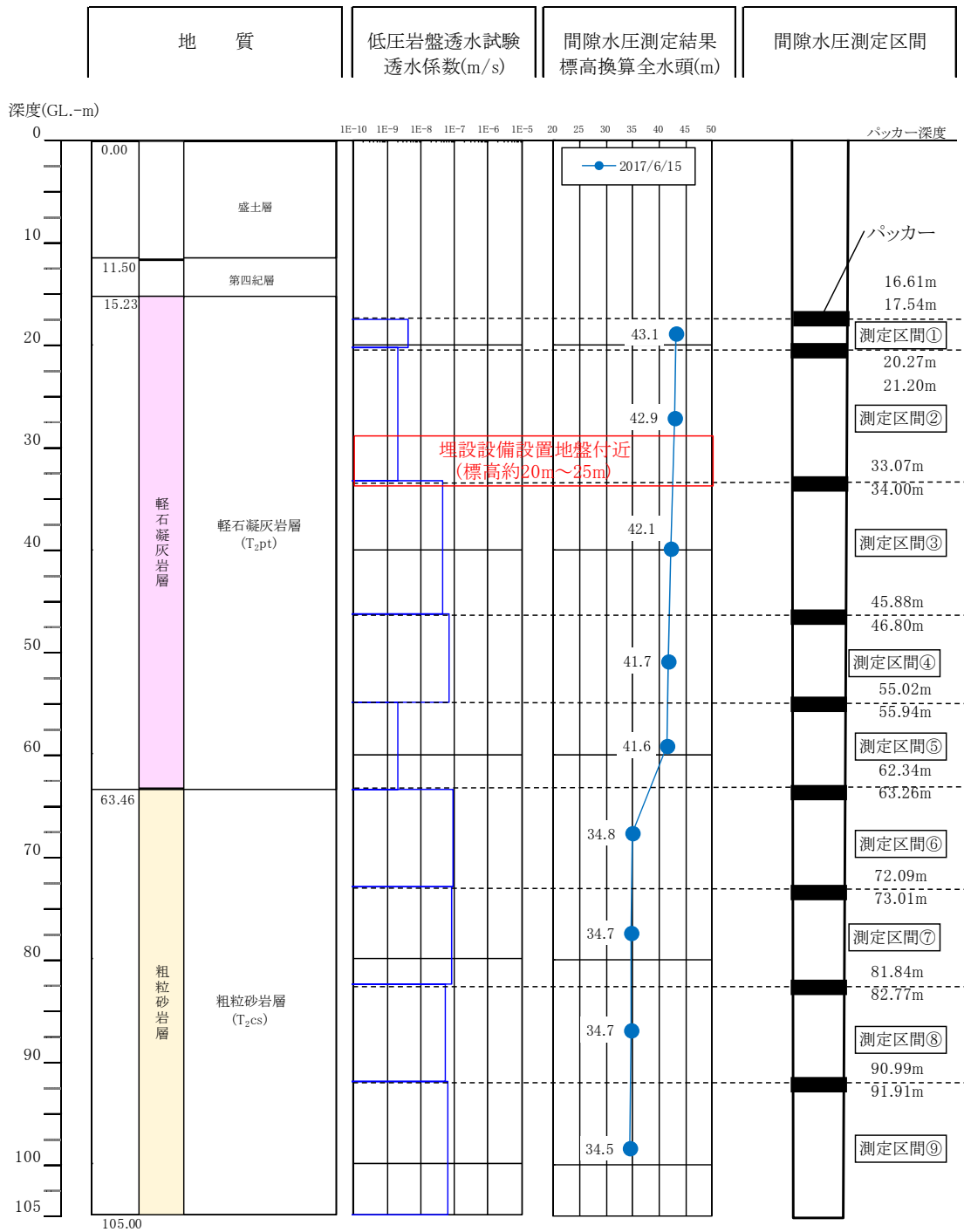
添3ハ-第4図 地下水面標高等高線図(1986年)\*1



表示範囲の位置図

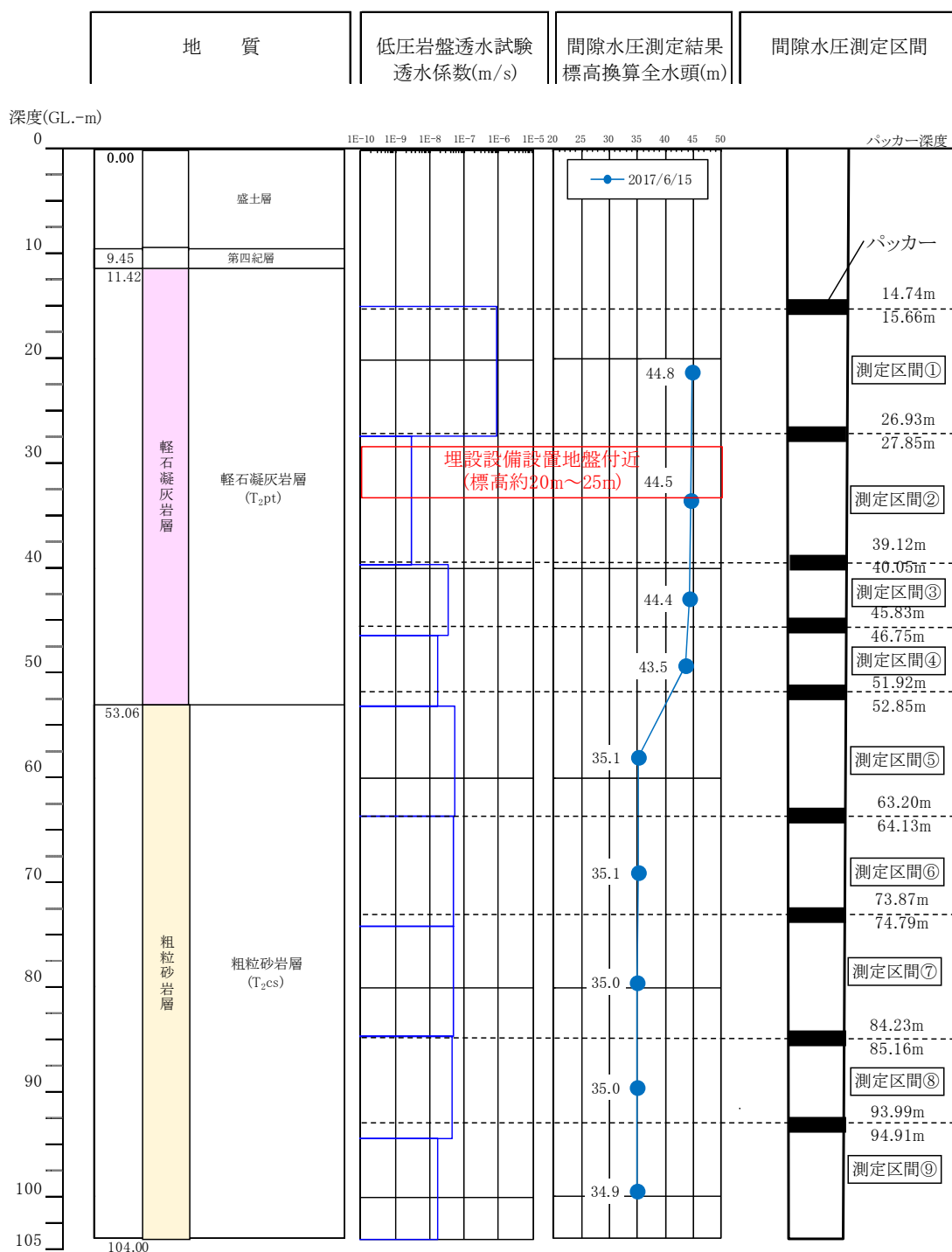
添 3 ハ-第 5 図 3 号廃棄物埋設地及びその付近の間隙水圧測定位置(2017 年 6 月)

測定孔地表面標高: 54.11 m



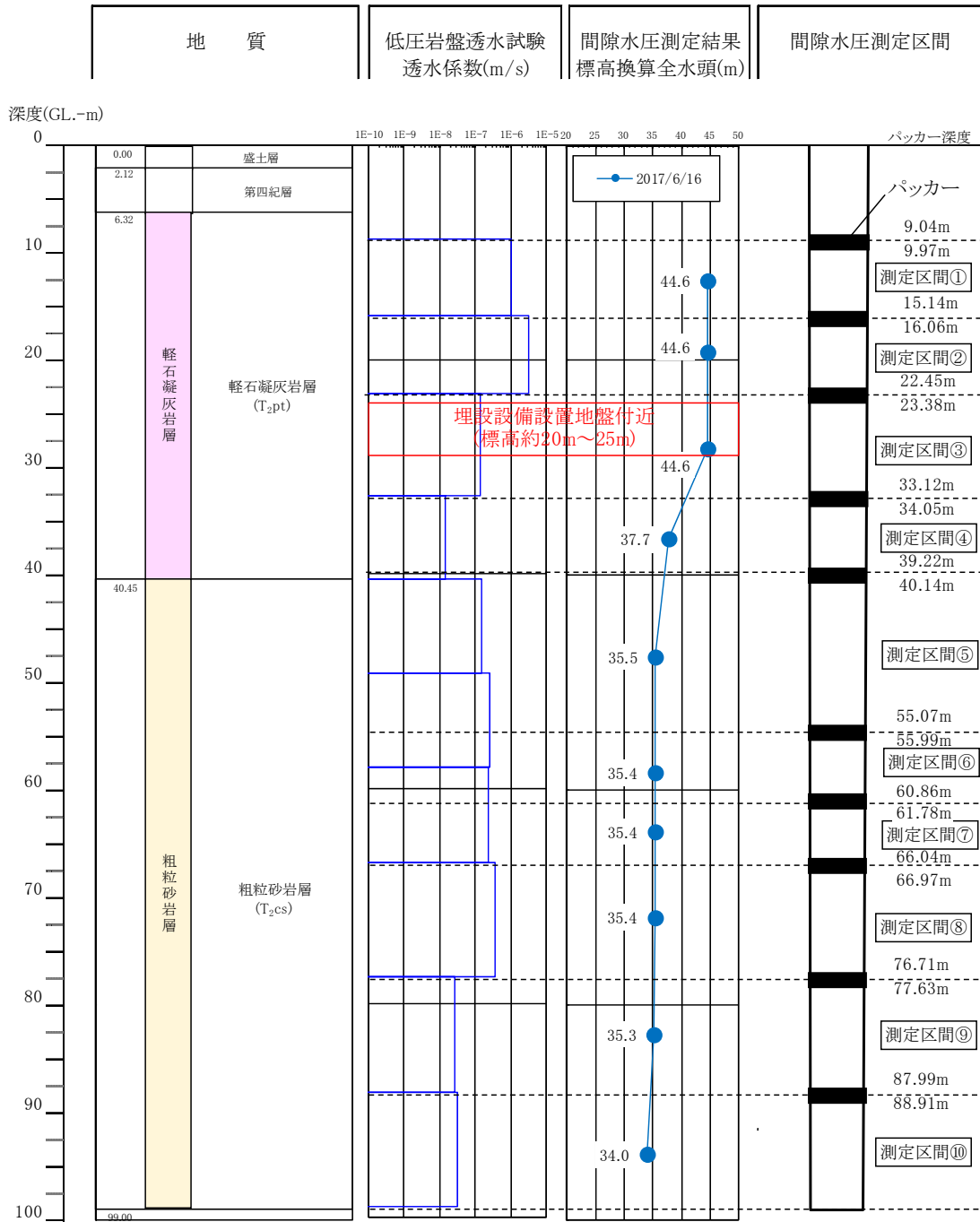
添 3 ハ-第 6 図 3 号埋設設備設置地盤標高付近の間隙水圧測定孔  
における間隙水圧測定結果(標高換算全水頭値)(1/3) E2-54 孔

測定孔地表面標高: 53.03 m



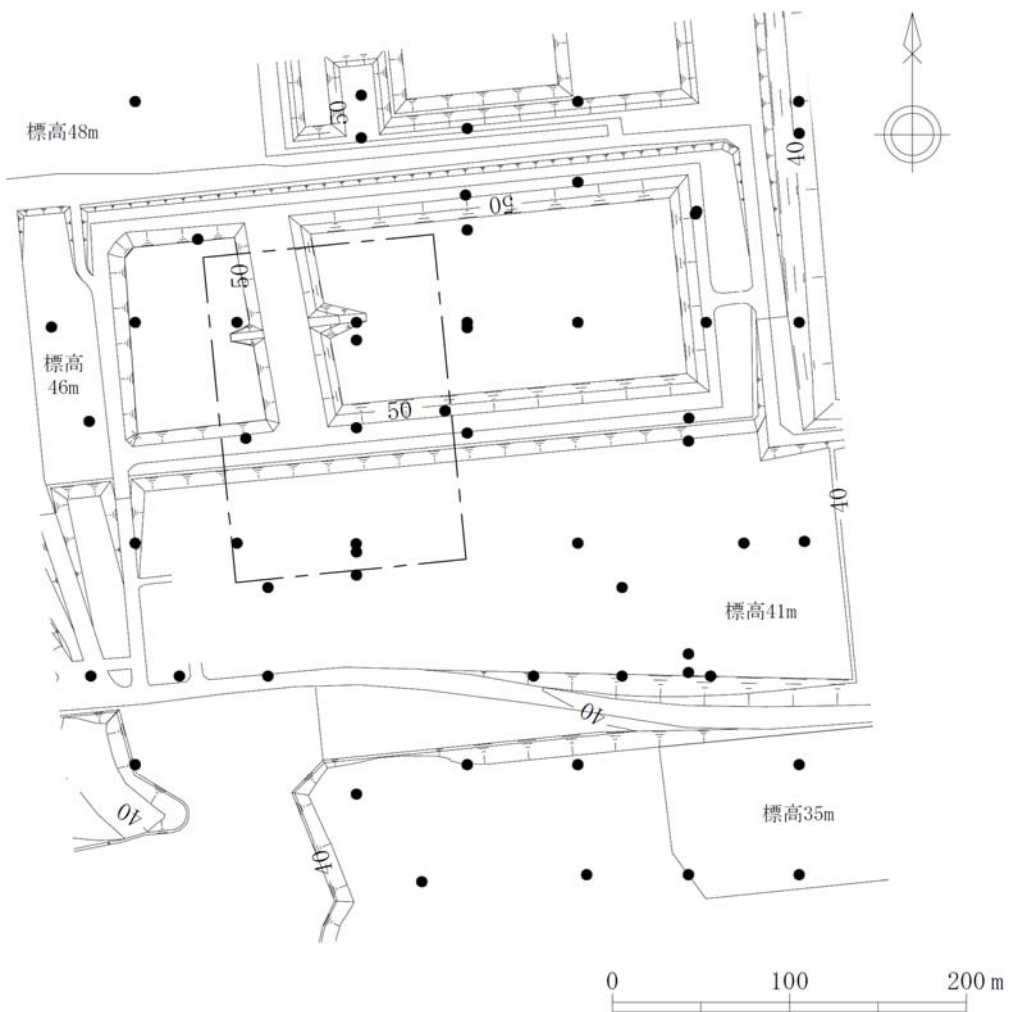
添3ハ-第6図 3号埋設設備設置地盤標高付近の間隙水圧測定孔  
における間隙水圧測定結果(標高換算全水頭値) (2/3) E2-56孔

測定孔地表面標高: 48.35 m



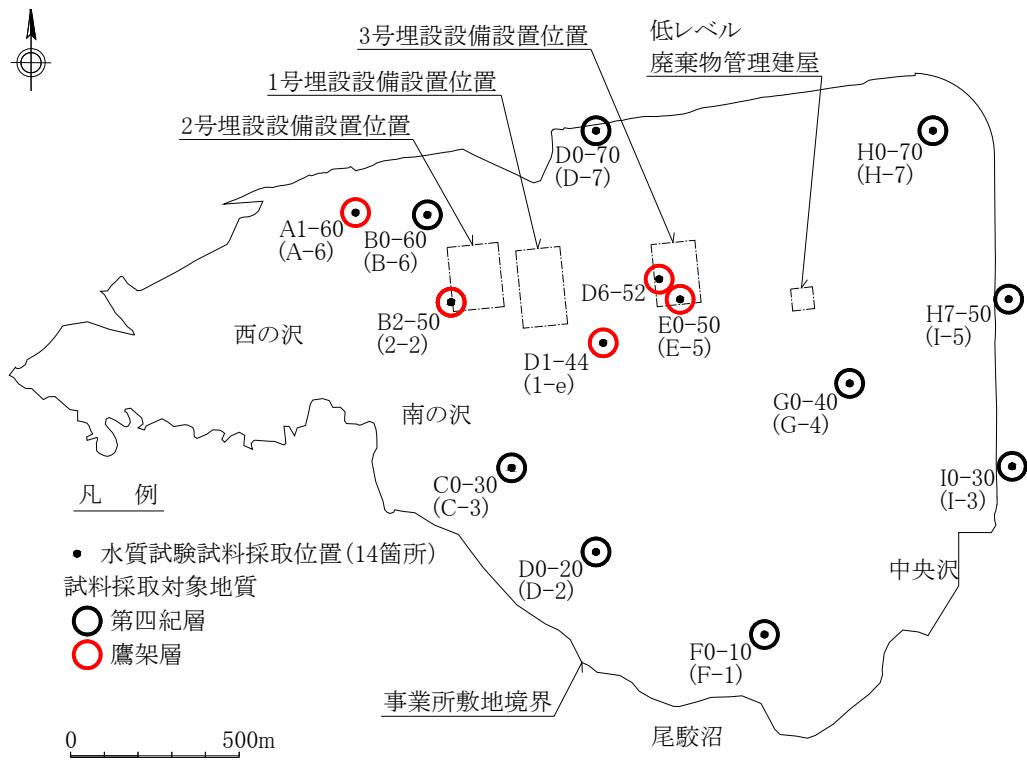
添 3 ハ-第 6 図 3 号埋設設備設置地盤標高付近の間隙水圧測定孔  
における間隙水圧測定結果(標高換算全水頭値) (3/3) E2-57.5 孔



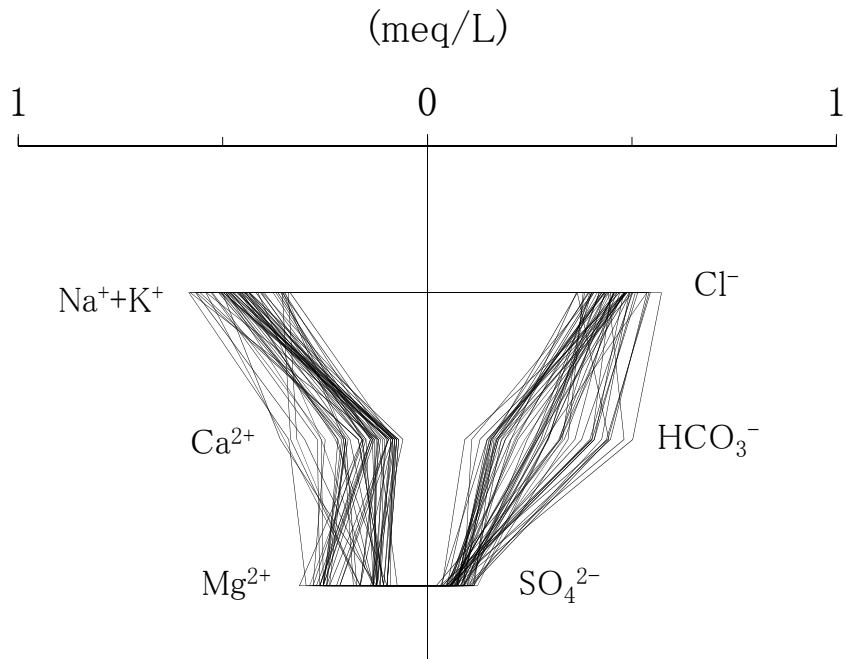


表示範囲の位置図

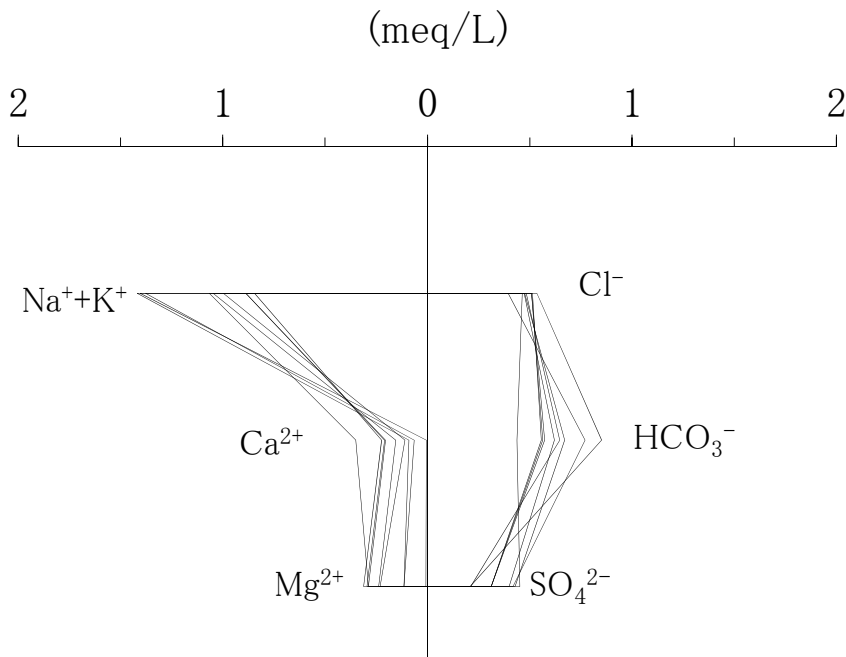
添3ハ-第7図 透水試験実施位置図



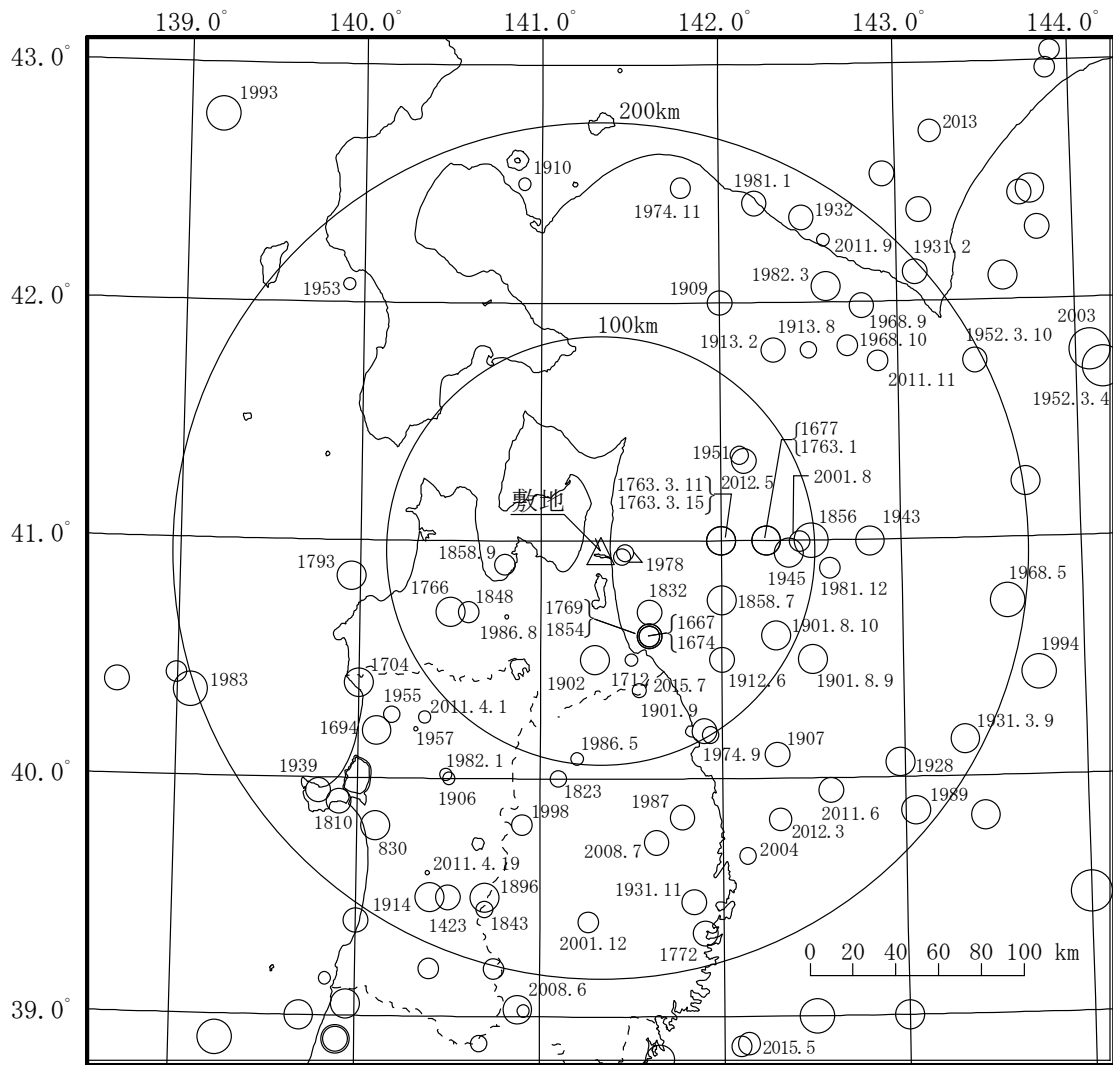
添 3 ハ-第 8 図 水質試験試料採取位置図



添3ハ-第9図 ヘキサダイアグラム(1/2) 第四紀層



添3ハ-第9図 ヘキサダイアグラム(2/2) 鷹架層

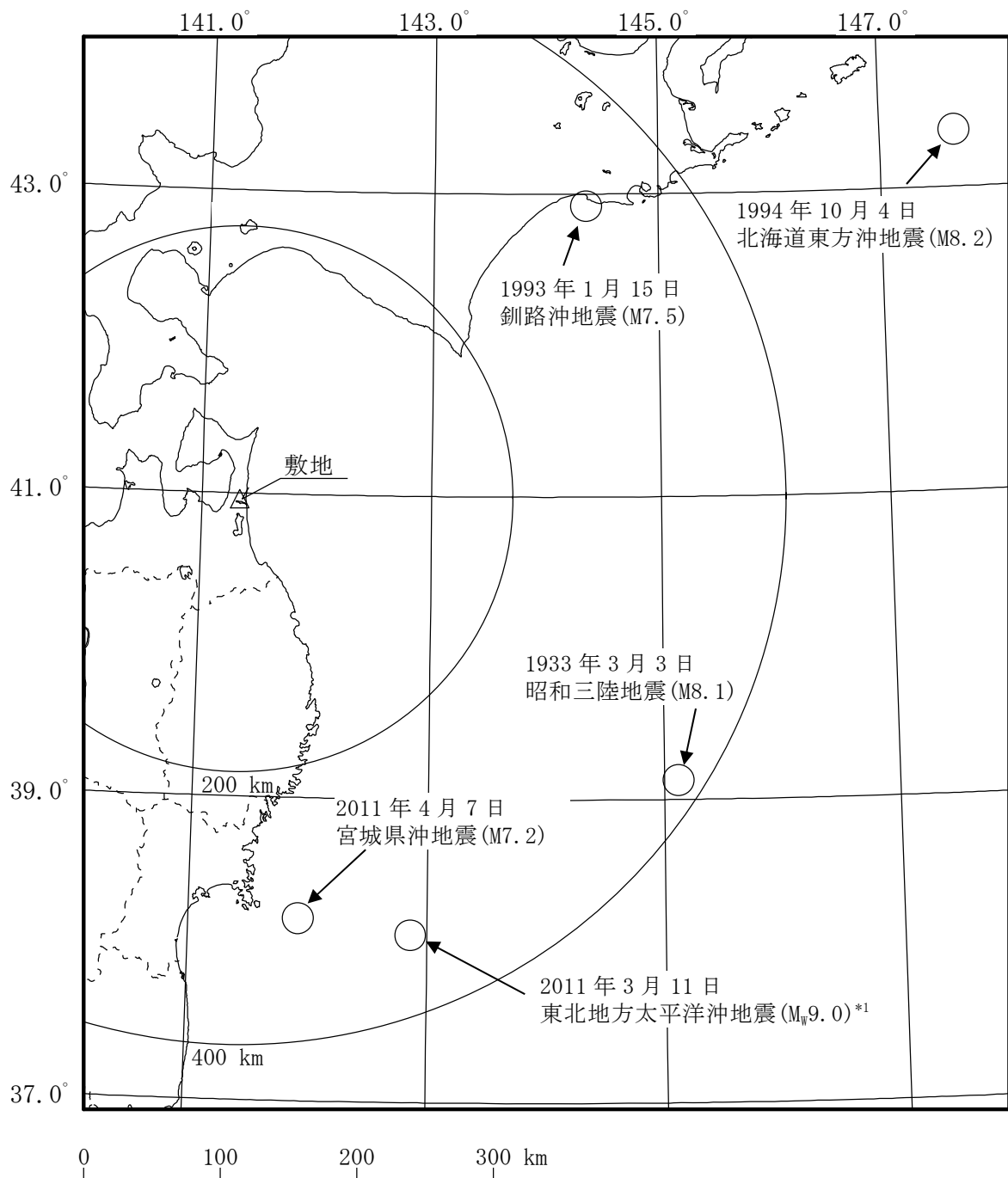


注1：図中の数字は地震発生年(同年(同年月)の地震が複数存在する場合には年月(年月日))。

注2：地震緒元は、1884年以前の地震については「日本被害地震総覧」<sup>(7)</sup>による値を、1885年以降1922年以前の地震については「宇津カタログ(1982)」<sup>(9)</sup>による値を、さらに1923年以降の地震については「気象庁地震カタログ」<sup>(10)</sup>による値をそれぞれ用いている。

凡例	
○	8.0 ≧ M
○	7.5 ≧ M < 8.0
○	7.0 ≧ M < 7.5
○	6.5 ≧ M < 7.0
○	6.0 ≧ M < 6.5
○	5.5 ≧ M < 6.0
○	5.0 ≧ M < 5.5
○	M < 5.0

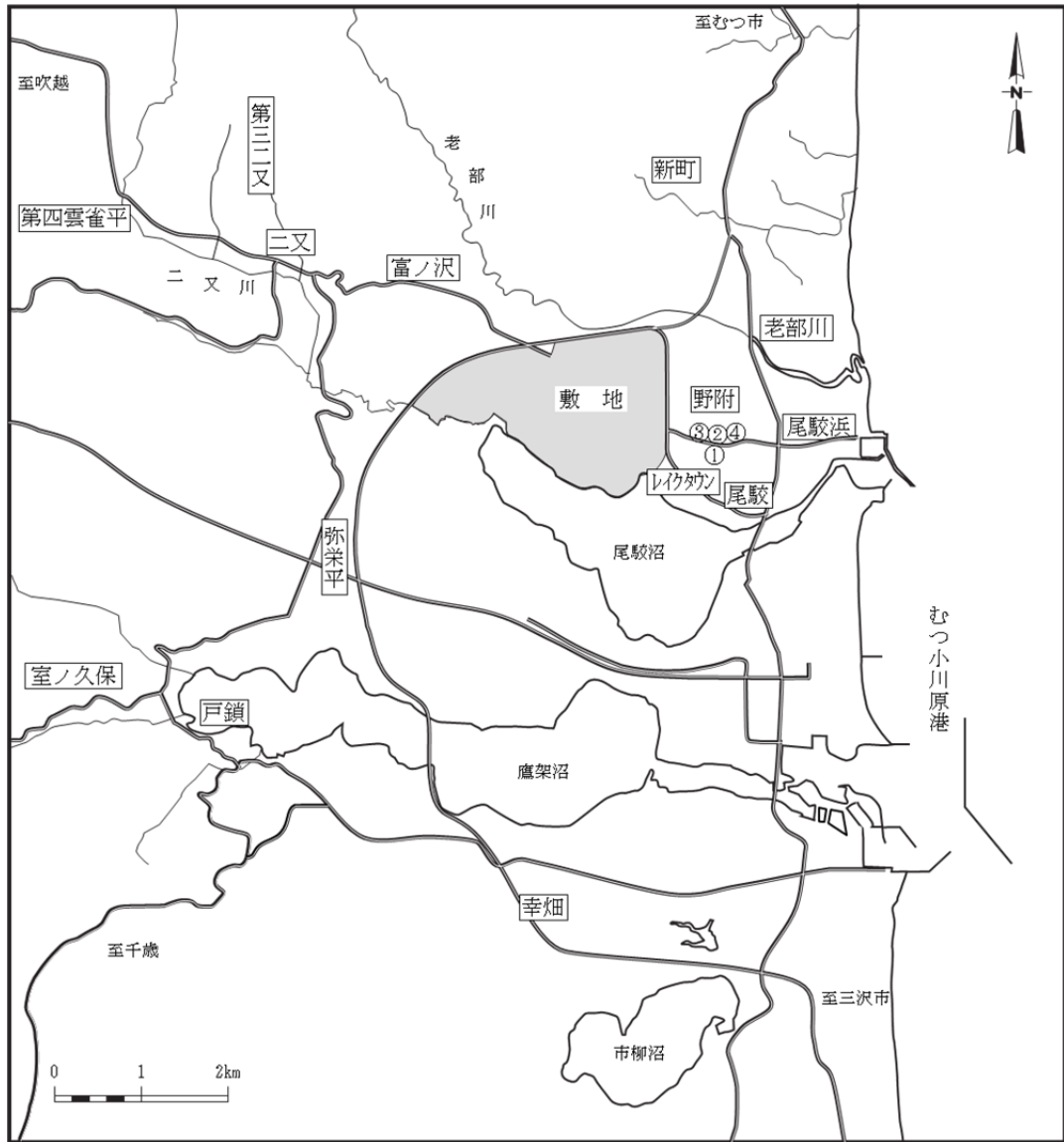
添3ニ-第1図 事業所敷地周辺の被害地震の震央分布  
(事業所敷地からの震央距離200km程度以内)



\*1: Mw=モーメントマグニチュード。

添3ニ-第2図 事業所敷地周辺の被害地震の震央分布  
(事業所敷地からの震央距離 200km 程度以遠)

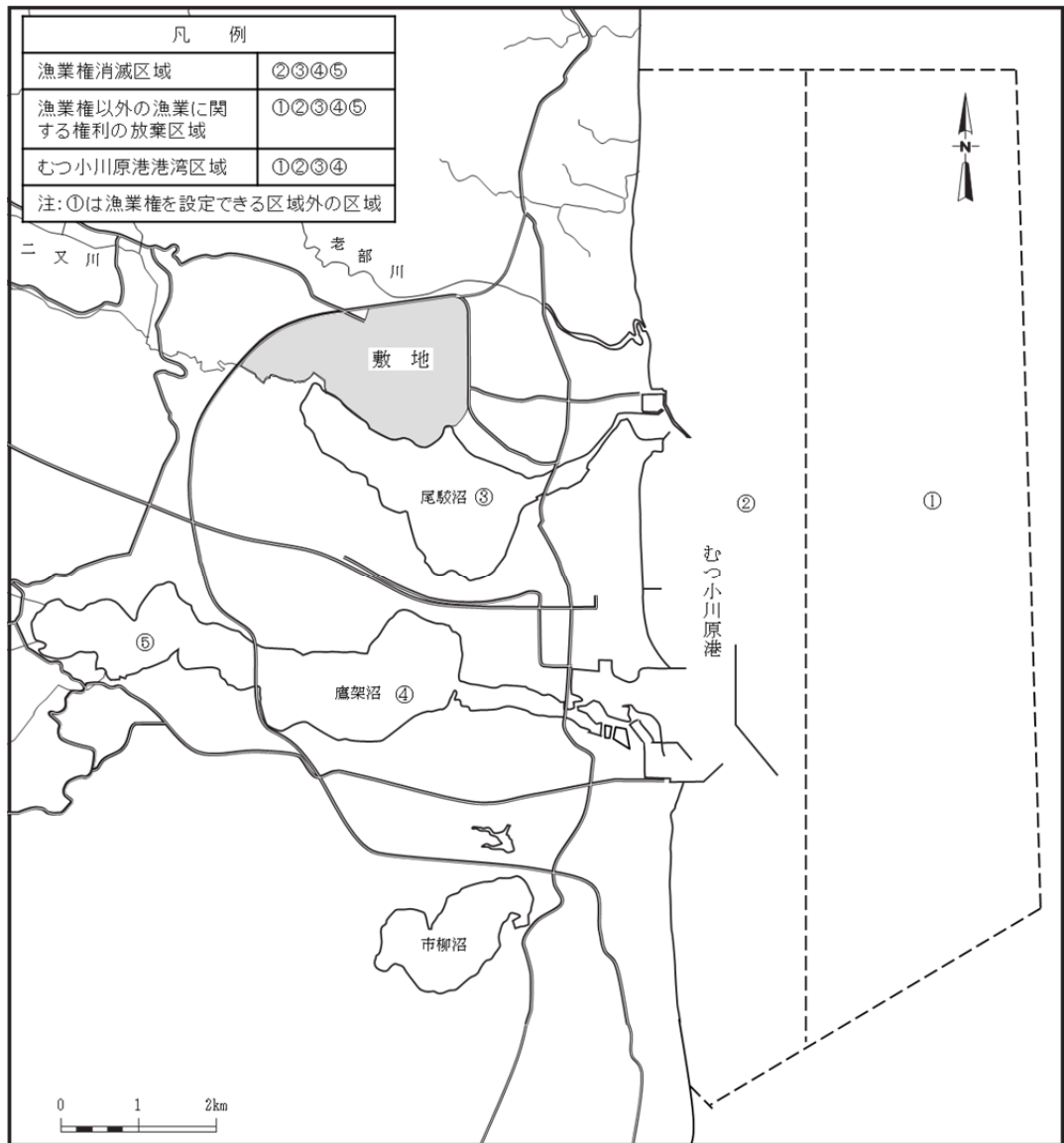




注1：□内の名称は集落名を示す。

凡 例	
①	第一中学校
②	尾駮小学校
③	おぶちこども園
④	六ヶ所村地域家庭医療センター

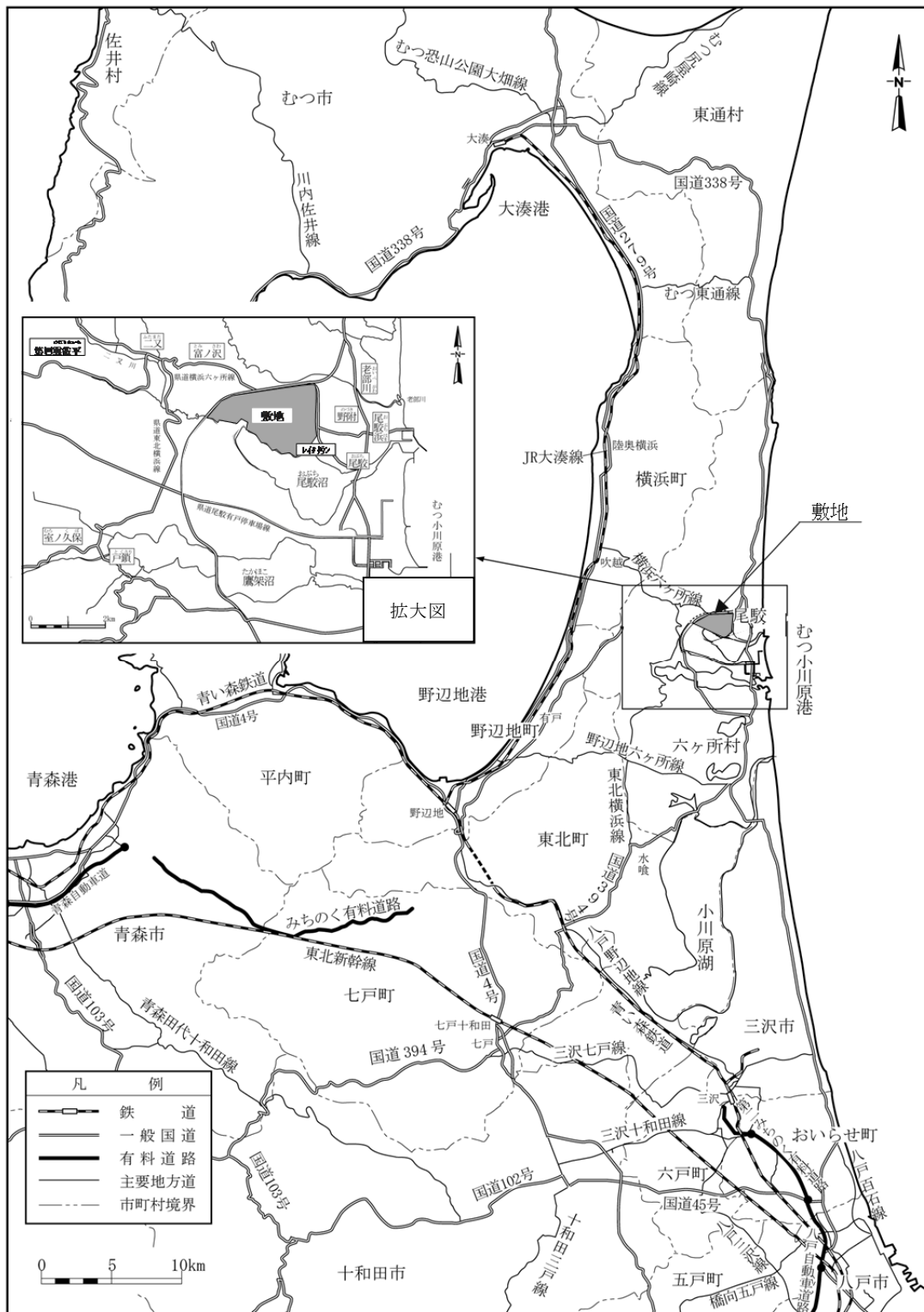
添3ホ-第1図 廃棄物埋設施設付近の集落、学校、幼保連携型認定こども園及び医療機関の位置図



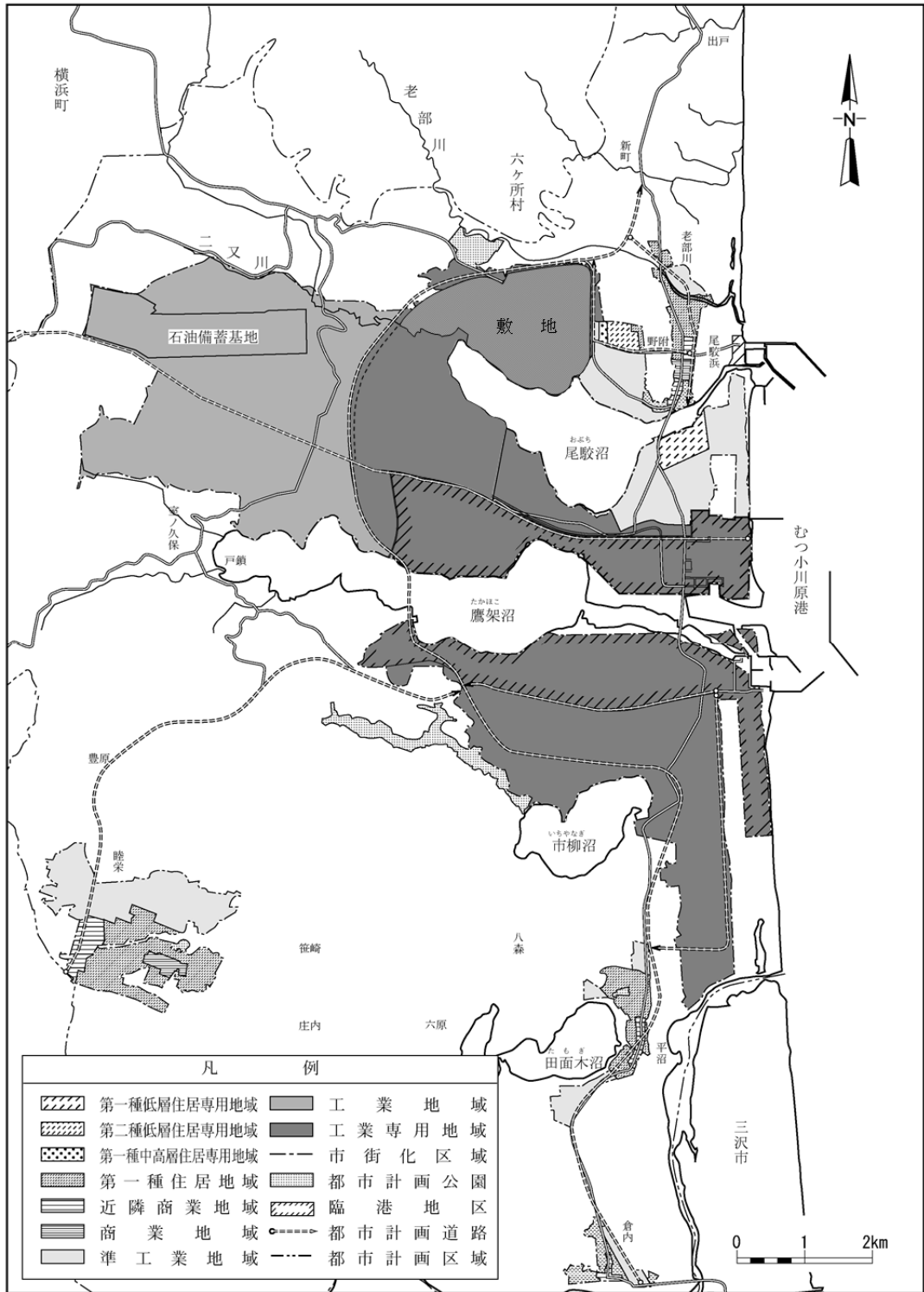
(免許漁業原簿を参考にして作成した。)

添 3 ホ-第 2 図 漁業権状況





添 3 ホ-第 3 図 廃棄物埋施設周辺の主要な道路、鉄道及び港湾



(六ヶ所都市計画図(平成20年)を参考に作成した。)

添3ホ-第4図 六ヶ所都市計画図